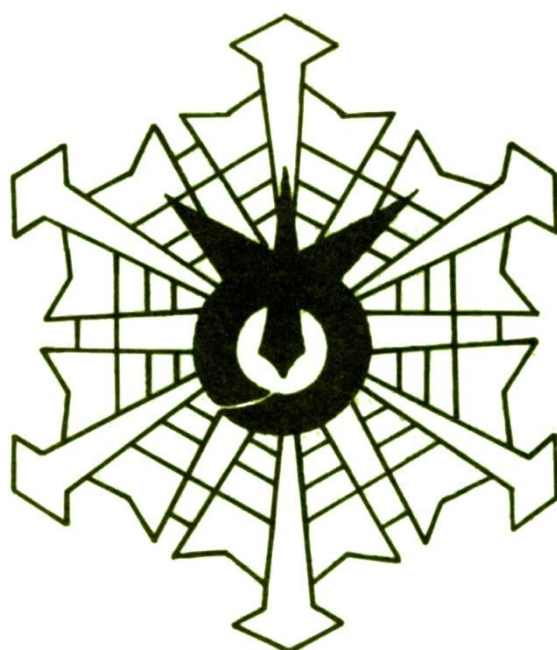


消防年報

令和 5 年版



(令和 6 年刊行)

安芸市消防本部

は し が き

- (1) この年報は、安芸市消防行政をひろく一般に紹介するとともに、将来の参考に資するため、令和5年中の本市消防の現勢及び業務の内容、火災状況等を集録編さんいたしました。
- (2) この統計中、火災統計、救急統計、警防活動状況は暦年（1月～12月）とし、その他の事項については、令和6年4月1日現在をもって集録しましたが、これによらないものについては、必要に応じ表右上に調査年月日を示しました。
- (3) この年報の世帯数人口等は安芸市市民課の統計資料によるものであります。

目次

安芸市消防の沿革	1
【総務編】	9
庶務	
1. 安芸市の位置	10
2. 安芸市の市勢	10
3. 消防職団員消防車に対する比較	10
4. 現有消防力に対する基準数(消防署)	10
5. 安芸市消防の組織	11
6. 事務分掌	12
7. 消防庁舎等の現況	13
財政	
1. 財政状況(平成 13 年度～令和 5 年度)	14
2. 令和 4 年度・令和 5 年度決算額	15
人事教養	
1. 職員定数及び配置状況	16
2. 職員勤続年数状況	16
3. 職員年齢別状況	17
4. 職員研修修了状況	17
5. 職員特殊技能資格取得状況	18
6. 歴代消防長・署長	
(ア) 歴代消防長	19
(イ) 歴代消防署長	20

【警防編】	21
-------	----

機材・水利

1. 消防機械配置図	22
2. 消防水利状況(防火水槽)	23
3. 消防団現有配備・消防水利充足状況	25
4. 消防署現有配備・消防通信設備状況	25
5. 消防資器材	26

通信

1. 警防	
(通信 デジタル波)	27
(固定局 安芸市防災行政無線)	28
2. 通信連絡系統表	30
3. サイレン遠隔制御装置	
(安芸市防災行政無線・デジタル波)	31

【救急統計編】	32
---------	----

1. 月別出場状況表	33
2. 時間別出場状況表	33
3. 曜日別出場状況表	33
4. 事故種別出場状況表	33
5. 救急出場件数	35
6. 搬送人員	35
7. 年齢別・傷害程度別搬送人員	36
8. 事故種別理由別不搬送件数	36
9. 救急隊員の行った応急処置件数	36

10. 覚知別・傷害別件数	37
11. 事故種別年齢区分別搬送人員	37
12. 事故種別傷害程度別搬送人員	37
13. 現場到着所要時間別出場件数	38
14. 収容所要時間別搬送人員	38
15. 事故種別医療機関別搬送人員	39
16. 救急法指導実施状況	40
【予防編】	41
1. 防火対象物数	42
2. 建築同意事務処理状況	43
3. 数量別危険物製造所等の数	44
4. 危険物関係事務処理状況	45
5. 火災予防条例に基づく各種届出状況	45
6. 消防法第9条の3に基づく届出状況	45
7. 消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)	46
8. 3年間の火災統計	47
9. 3年間の地区別火災統計	47
10. 3年間(令和3年・4年・5年)の月別火災件数及び 原因別火災件数調べ	48
11. 原因別(内訳)火災状況	49
12. 時刻別火災状況	50
13. 曜日別火災状況	51
14. 覚知火災状況	51
15. 月別火災状況	52
16. 月別火災出動状況	52

17. 業務別火災発生状況	53
【消防団編】	54
1. 安芸市消防団機構	55
2. 消防団定員及び実員数	55
3. 消防団在職年数	55
4. 年齢別調べ	55
5. 消防団編成表	56
6. 消防機械車齢別一覧表	56
7. 機械器具配置状況	57
8. ポンプ車配置状況	57
9. 指揮者、運搬車、防災活動車、小型ポンプ 積載車配置状況	57
10. 小型ポンプ配置状況	57
11. 消防団幹部名簿	58
12. 歴代団長	58
13. 団員報酬調べ、年報酬(1人当)	59
14. 出動報酬	59
15. 手当関係	59
16. 安芸市消防団員表彰条例	60

安芸市消防の沿革

本市は昭和29年8月1日市町村合併促進法に基づき1町7村（安芸町・伊尾木村・川北村・土居村・井ノ口村・畑山村・東川村・赤野村）が合併した高知市以東に於ける市街地を形成する人口3万余名の田園都市として発足。

本市は昭和29年8月1日消防団結成と共に初代団長に野町紀稔之助氏が就任。分団数10ヶ分団（伊尾木分団・川北分団・東川分団・安芸分団・中央分団・土居分団・井ノ口分団・畑山分団・穴内分団・赤野分団）団員総数314名、消防ポンプ自動車5台、手引動力ポンプ4台、小型動力ポンプ1台、合計口数15口の消防力で発足した。

昭和30年	3月	7日	国家消防本部長より表彰竿頭綬を授与。
昭和31年	4月	7日	消防ポンプ自動車A2級購入、穴内分団へ配置。
昭和31年	4月	7日	消防ポンプ自動車A2級購入、井ノ口分団へ配置。
昭和31年	6月	5日	小型動力ポンプB2級購入、赤野分団へ配置。
昭和33年	8月	1日	消防団員定数条例改正（定員314名を282名）。
昭和34年	4月	7日	高知県知事より旗旌を授与。
昭和36年	2月26日		消防ポンプ自動車A2級購入、中央分団へ配置。
昭和36年	7月10日		小型動力ポンプB2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和36年	7月11日		小型動力ポンプB2級購入、畑山分団へ配置。
昭和36年	12月13日		消防ポンプ自動車購入、赤野分団へ配置。
昭和38年	3月27日		搬送車購入、畑山分団へ配置。
昭和38年	8月15日		消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和38年	12月	5日	消防用超短波無線機基地局及び車載用移動局1基購入。
昭和39年	8月	5日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和39年	8月	5日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団上尾川地区へ配置。
昭和39年	8月18日		小型動力ポンプB2級購入、畑山分団和田地区へ配置。
昭和40年	2月	2日	小型動力ポンプB2級購入、穴内分団へ配置。
昭和40年	4月	1日	政令107号により消防本部・消防署の設置の義務付け。
昭和40年	4月26日		小型動力ポンプB2級購入、川北分団江川班へ配置。
昭和40年	9月29日		消防ポンプ自動車購入、消防本部・消防署発足時に配置。
昭和41年	3月	1日	搬送車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和41年	11月	4日	消防用超短波無線機移動用5W購入、消防署、消防ポンプ自動車に積載。
昭和42年	4月	1日	消防本部・消防署、職員17名で発足。 初代消防長に山崎初男氏（市長）就任。 本部次長兼署長に小松亦吾郎氏就任。
昭和42年	10月15日		県知事より、表彰竿頭綬を授与。
昭和42年	10月18日		小型動力ポンプB2級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和42年	12月	5日	消防庁舎新築工事着工。
昭和43年	3月	7日	消防庁長官より表彰旗授与。
昭和43年	6月10日		消防庁舎新築工事完成。
昭和43年	7月31日		初代消防団長野町紀稔之助氏退任。
昭和43年	8月	1日	2代目消防団長に畑山丈藏氏就任。

昭和43年 9月30日	小型動力ポンプB2級購入、赤野分団へ配置。
昭和44年11月14日	消防ポンプ自動車A2級購入、消防本部へ配置。
昭和45年 9月 1日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団へ配置。
昭和45年12月20日	消防ポンプ自動車A2級購入、川北分団へ配置。
昭和46年 1月 8日	救急車B級日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和46年 4月 1日	救急業務開始。
昭和46年 4月 1日	救急業務開始にともない、職員7名増員、定員24名。
昭和46年11月 8日	消防ポンプ自動車A1級、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和47年 3月10日	消防ポンプ自動車A2級購入、伊尾木分団へ配置。
昭和47年 7月 7日	運搬車日産C240型式購入、消防本部へ配置。
昭和47年 9月12日	消防ポンプ自動車A2級購入、土居分団へ配置。
昭和47年10月	職員1名退職。実員23名。
昭和47年12月 1日	職員1名採用。実員24名。
昭和48年 4月 1日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団古井地区へ配置。
昭和48年12月10日	消防ポンプ自動車A2級購入、穴内分団へ配置。
昭和49年 7月26日	小型動力ポンプB2級購入、伊尾木分団下山班へ配置。
昭和49年 9月 4日	初代消防長山崎初男氏（市長）退任。
昭和49年 9月 5日	2代目消防長に岡村喜郎氏（市長）就任。
昭和49年 9月25日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、井ノ口分団へ配置。
昭和50年 3月31日	本部次長兼消防署長小松亦吾郎氏退任。実員23名。
昭和50年 4月 1日	本部次長兼消防署長に伊藤嘉幸氏就任。
	職員1名採用。実員24名。
昭和50年12月24日	中央分団屯所完成。
昭和51年 3月31日	2代目消防長岡村喜郎氏（市長）退任。
昭和51年 4月 1日	3代目消防長に伊藤嘉幸氏就任（本部次長・消防署長兼務）。
昭和51年 7月24日	小型動力ポンプB2級購入、丸石地区へ配置。
昭和51年 7月31日	2代目消防団長畑山文藏氏退任。
昭和51年 8月 1日	3代目消防団長に岡村幸一氏就任。
昭和51年12月 3日	水槽付消防ポンプ自動車1-A型購入、消防本部へ配置。
昭和52年 1月10日	救急自動車B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和53年 1月31日	サイレン遠隔制御装置設置（子局11ヶ所）。
昭和53年 3月11日	井ノ口分団屯所完成。
昭和53年 4月 1日	職員3名採用、市役所へ1名出向。実員26名。
昭和53年 4月15日	川北分団車庫完成（川北公民館と併用）。
昭和53年 5月13日	消防指令車購入、消防本部へ配置。
昭和53年11月26日	穴内分団屯所完成。
昭和54年 3月31日	専任消防長に伊藤嘉幸氏就任。
昭和54年 4月 1日	本部次長兼消防署長に森澤民平氏就任。
昭和54年 4月 1日	芸西村消防業務一部受託（予防・救急）にともない職員11名採用、市役所へ2名出向。実員35名。
昭和54年 7月 7日	小型動力ポンプB2級購入、川北分団江川班へ配置。

昭和54年12月 1日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和54年12月12日	畑山分団屯所落成。
昭和54年12月27日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、赤野分団へ配置。
昭和55年 2月15日	救急指令装置を設置。
昭和55年 7月31日	3代目消防団長岡村幸一氏退任。
昭和55年 8月 1日	4代目消防団長に岡林重夫氏就任。
昭和55年 8月19日	小型動力ポンプB2級購入、東川分団奈比賀地区へ配置。
昭和56年 2月10日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、中央分団へ配置。
昭和56年 7月27日	小型動力ポンプB2級購入、畑山分団和田地区へ配置。
昭和56年 9月30日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、畑山分団へ配置。
昭和56年11月 7日	畑山分団車庫増設。
昭和57年 1月29日	中央分団車庫増設。
昭和57年 3月25日	搬送車2台購入、中央分団・井ノ口分団へ配置。
昭和57年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和57年 4月28日	高知県知事より表彰旗授与。
昭和57年 7月 6日	小型動力ポンプB3級購入、東川分団大井地区へ配置。
昭和57年10月10日	東川分団車庫完成。
昭和57年10月28日	消防ポンプ自動車BS-I型購入、東川分団へ配置。
昭和58年 2月24日	赤野分団車庫増設。
昭和58年 2月28日	搬送車2台購入、赤野分団・土居分団へ配置。
昭和58年 4月 1日	職員1名採用、市役所へ1名出向。実員35名。
昭和58年 6月	職員1名退職。実員34名。
昭和58年 7月29日	小型動力ポンプB3級購入、畑山分団上尾川地区へ配置。
昭和58年 8月 8日	軽可搬消防ポンプ消防本部へ配置。
昭和59年 2月10日	穴内分団車庫増設。
昭和59年 2月20日	搬送車2台購入、穴内分団・川北分団へ配置。
昭和59年 2月22日	東川分団奈比賀地区格納庫完成。
昭和59年 3月31日	本部次長兼消防署長森澤民平氏退任。実員33名。
昭和59年 4月 1日	本部次長兼消防署長に島崎賀行氏就任（市役所より出向）。実員34名。
昭和59年 6月17日	小型動力ポンプB3級購入、井ノ口分団内原野地区へ配置。
昭和59年 9月28日	消防ポンプ自動車BD-1型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和59年11月29日	救急自動車2B型、日本自動車工業会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和60年 2月28日	搬送車購入、安芸分団へ配置。
昭和60年 3月22日	安芸分団屯所完成。
昭和60年 3月31日	3代目消防長伊藤嘉幸氏退任。実員33名。
昭和60年 4月 1日	4代目消防長に山崎勲氏就任（市役所より出向）。実員34名。
昭和60年 6月	職員1名退職。実員33名。
昭和60年 8月27日	広報車、日本消防協会より寄贈、消防本部へ配置。
昭和61年 2月18日	伊尾木分団屯所完成。
昭和61年 3月 6日	搬送車購入、伊尾木分団へ配置。
昭和61年 4月 1日	職員2名採用。実員35名。

昭和 6 1 年 1 0 月 9 日	搬送車購入、畑山分団へ配置。
昭和 6 2 年 3 月 2 6 日	川北分団江川班屯所完成。
昭和 6 2 年 3 月 3 1 日	本部次長兼消防署長島崎賀行氏市役所へ。
昭和 6 2 年 4 月 1 日	仙頭齊氏本部次長に就任。
	楠瀬要一氏消防署長に就任。
	市役所より元消防職員 1 名補充。実員 3 5 名。
昭和 6 2 年 1 1 月 1 1 日	東川分団奈比賀地区消防車庫完成。
昭和 6 2 年 1 1 月 1 1 日	東川分団奈比賀地区に運搬車配置。
昭和 6 3 年 3 月 5 日	救急車 2 B 型、日本損害保険協会より寄贈。
昭和 6 3 年 3 月 2 5 日	伊尾木分団下山班屯所完成。
昭和 6 3 年 7 月 3 1 日	4 代目消防団長岡林重夫氏退任。
昭和 6 3 年 8 月 1 日	5 代目消防団長に吉永秀昭氏就任。
昭和 6 3 年 1 2 月 1 4 日	搬送車 2 台購入、川北分団江川班・伊尾木分団下山班へ配置。
平成 元年 3 月 3 1 日	土居分団屯所完成。
平成 元年 3 月 3 1 日	サイレン遠隔制御装置子局下尾川へ設置。
平成 元年 9 月	職員 1 名退職。実員 3 4 名。
平成 2 年 3 月 3 1 日	川北分団屯所完成。
平成 2 年 4 月 1 日	職員 2 名採用。市役所へ 1 名出向。実員 3 5 名。
平成 2 年 1 1 月 2 0 日	消防ポンプ自動車 B D—I 型購入、安芸分団へ配置。
平成 3 年 3 月 2 9 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、消防本部へ配置。
平成 3 年 4 月 1 日	職員 1 名採用、実員 3 6 名。
平成 3 年 1 1 月 1 3 日	消防ポンプ自動車 B D—I 型購入、川北分団へ配置。
平成 4 年 3 月 3 1 日	4 代目消防長山崎勲氏退任。実員 3 5 名。
平成 4 年 4 月 1 日	5 代目消防長に仙頭齊氏就任。
	本部次長兼消防署長に楠瀬要一氏就任。
	消防職員 2 名採用、市役所へ 1 名出向。実員 3 6 名。
平成 4 年 1 0 月 2 7 日	消防ポンプ自動車 B D—I 型購入、伊尾木分団へ配置。
平成 4 年 1 1 月 2 5 日	小型動力ポンプ B 3 級購入消防本部へ配置。
平成 5 年 4 月 1 日	職員 2 名採用、実員 3 8 名。
平成 6 年 1 月 1 7 日	消防ポンプ自動車 B D—I 型 2 台購入、土居分団・穴内分団へ配置。
平成 6 年 3 月 7 日	消防団緊急伝達システム装置（基地局 1・子局 1 7）設置。
平成 6 年 3 月 2 8 日	高規格救急車パラメディック及び資機材、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 6 年 3 月 3 1 日	5 代目消防長仙頭齊氏退任。
	本部次長兼消防署長楠瀬要一氏退任。
	職員 1 名退職。実員 3 5 名。
平成 6 年 4 月 1 日	6 代目消防長に森田修一氏就任。（市役所より出向）
	本部次長兼消防署長に横山壽美男氏就任。
	消防職員 2 名増員、定員 3 8 名。
平成 6 年 8 月 9 日	畑山分団上尾川地区格納庫完成。
平成 7 年 3 月 8 日	消防団緊急伝達システム装置子局穴内へ設置。

平成 7 年 4 月 1 日	職員 2 名採用、市役所へ 1 名出向、実員 3 9 名。
平成 7 年 5 月 3 0 日	予防広報車購入、消防本部へ配置。
平成 7 年 7 月 2 1 日	搬送車、石建守氏より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7 年 7 月 2 1 日	救急車 2 B 型、高知県共済農業協同組合連合会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7 年 8 月 1 日	消防ポンプ自動車 C D—I 型、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成 7 年 1 1 月 1 日	消防ポンプ自動車 C D—I 型 2 台購入、井ノ口分団・赤野分団へ配置。
平成 8 年 2 月 1 日	高知県消防防災航空隊へ消防職員 1 名派遣。実員 3 8 名。
平成 8 年 7 月 3 1 日	5 代目消防団長吉永秀昭氏退任。
平成 8 年 8 月 1 日	6 代目消防団長に五百藏溜氏就任。
平成 9 年 2 月 7 日	中央分団屯所完成。
平成 9 年 3 月 6 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）大山岬へ設置。
平成 9 年 1 2 月 2 4 日	消防ポンプ自動車 C D—I 型 2 台購入、畑山分団・中央分団へ配置。
平成 1 0 年 1 月 7 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）津久茂町へ設置。
平成 1 0 年 3 月 8 日	東川分団屯所完成。
平成 1 0 年 6 月 2 4 日	消防指揮車 J A 安芸市より寄贈、消防本部へ配置。
平成 1 0 年 1 1 月 1 5 日	消防ポンプ自動車 C D—I 型購入、東川分団へ配置。
平成 1 0 年 1 2 月 8 日	穴内分団屯所完成。
平成 1 1 年 3 月 2 6 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）穴内南へ設置。
平成 1 1 年 4 月 1 日	高知県消防防災航空隊より消防職員 1 名戻り。実員 3 9 名。
平成 1 1 年 1 2 月 2 4 日	畑山分団屯所完成。
平成 1 2 年 3 月 7 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）川北南へ設置。
平成 1 2 年 3 月 2 9 日	小型ポンプ付積載車購入、伊尾木分団下山班へ配置。
平成 1 2 年 3 月 3 1 日	6 代目消防長森田修一氏市役所へ。実員 3 8 名。
平成 1 2 年 4 月 1 日	7 代目消防長に横山壽美男氏就任。
	本部次長兼消防署長に小松精一氏就任。
	職員 2 名採用、事務職員市役所より 1 名出向。実員 4 1 名。
平成 1 2 年 1 1 月 2 8 日	井ノ口分団屯所完成。
平成 1 3 年 3 月 2 9 日	消防団緊急伝達システム装置（子局）僧津へ設置。
	小型ポンプ付積載車、穴内分団へ配置。
平成 1 3 年 3 月 3 1 日	本部次長兼消防署長小松精一氏退任。実員 4 0 名。
平成 1 3 年 4 月 1 日	本部次長兼消防署長に大野雄康氏就任。
平成 1 4 年 2 月 2 5 日	小型ポンプ付積載車、川北分団江川班へ配置。
	江川班の運搬車を川北分団に配置。
平成 1 4 年 3 月 3 1 日	事務職員 1 名市役所へ戻る。実員 3 9 名。
平成 1 4 年 4 月 1 日	職員 2 名採用、実員 4 1 名。
平成 1 4 年 1 0 月 2 4 日	小型ポンプ付積載車、赤野分団へ配置。
平成 1 5 年 3 月 3 1 日	職員 1 名退職。実員 3 9 名。
平成 1 5 年 4 月 1 日	職員 1 名採用、実員 4 0 名。
平成 1 5 年 7 月 3 0 日	井ノ口分団内原野地区格納庫完成。（建替）
平成 1 6 年 3 月 3 1 日	職員 1 名退職。実員 3 9 名。
平成 1 6 年 6 月 2 5 日	室戸市消防本部より救急自動車 2 B 型寄贈、（予備車）消防本部へ配置。

平成16年	7月31日	6代目消防団長五百藏溜氏退任。
平成16年	8月1日	7代目消防団長に野町久壽昭氏就任。
平成17年	2月1日	高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成17年	3月31日	職員1名退職。実員38名。
平成17年	4月1日	高知県消防防災航空隊へ消防職員1名派遣。実員37名。
平成18年	3月27日	赤野分団屯所完成。
平成18年	3月31日	本部次長兼消防署長大野雄康氏退任。 職員3名退職。実員34名。
平成18年	4月1日	本部次長兼消防署長に有澤誠郎氏就任。 事務職員市役所より1名出向。定員38名、実員35名。
平成19年	2月9日	日本消防協会より表彰旗授与。
平成19年	2月21日	消防団緊急伝達システム装置（子局）井ノ口北へ設置。
平成19年	3月31日	職員1名退職。事務職員1名市役所へ戻る。実員33名。
平成19年	4月1日	事務職員市役所より1名出向。職員2名採用、実員36名。
平成19年	10月22日	トヨタ救急車。全国共済農業協同組合連合会より寄贈。
平成20年	3月31日	7代目消防長横山壽美男氏退任。職員1名退職。実員34名。
平成20年	4月1日	8代目消防長に有澤誠郎氏就任。 本部次長兼消防署長に小松昌一氏就任。 職員2名採用、実員36名。
平成21年	2月27日	消防団指揮車。日本消防協会より寄贈、団本部へ配置。
平成21年	3月31日	8代目消防長有澤誠郎氏退任。実員35名。
平成21年	4月1日	9代目消防長に小松敏伸氏就任。 職員1名採用（市役所より出向）、高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。実員38名。
平成21年	12月15日	水槽付消防ポンプ自動車・水1-A購入、消防本部へ配置。
平成22年	12月10日	消防団小型動力ポンプ付軽消防自動車。日本損害保険協会より寄贈、団本部へ配置。
平成23年	2月24日	救助工作車購入、消防本部へ配置。
平成23年	2月25日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、安芸分団へ配置。
平成23年	4月1日	職員2名採用。実員40名。
平成24年	2月8日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、川北分団へ配置。
平成24年	3月31日	職員4名退職。実員36名。
平成24年	4月1日	職員4名採用。高知県消防防災航空隊へ1名出向。実員39名。
平成24年	7月12日	新消防庁舎工事起工。
平成25年	1月18日	高規格救急車ハイメディック購入、消防本部へ配置。
平成25年	3月19日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、伊尾木分団へ配置。
平成25年	3月20日	新消防庁舎工事竣工。
平成25年	3月25日	災害対応通信システムとして、消防救急デジタル無線・消防指令台整備。
平成25年	3月31日	9代目消防長小松敏伸氏退任。 本部次長兼署長小松昌一氏退任。 職員1名退職。実員36名。

平成25年	4月	1日	消防本部に消防課を設置。 10代目消防長に仙頭義文氏就任。 本部次長兼署長兼課長に松本照秋氏就任。 職員1名採用。実員37名。
平成26年	3月	17日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、土居分団へ配置。
平成26年	11月	4日	高規格救急車ハイメディック、日本損害保険協会より寄贈、消防本部へ配置。
平成27年	3月	12日	軽四輪多目的車購入、消防本部へ配置。
平成27年	3月	17日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、穴内分団へ配置。
平成27年	3月	20日	多機能型運搬車購入、消防本部へ配置。
平成28年	3月	15日	消防ポンプ自動車CD-I型購入、消防本部へ配置。
平成28年	4月	1日	職員1名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。高知県消防防災航空隊へ1名出向。実員38名。
平成29年	1月	21日	消防団運搬車2台購入、土居分団・井ノ口分団へ配置。
平成29年	3月	31日	10代目消防長仙頭義文氏退任。実員37名。
平成29年	4月	1日	11代目消防長に松本龍二氏就任。 職員2名採用。実員39名。
平成29年	11月	12日	消防本部50周年記念式典・祝賀会。
平成29年	12月	11日	消防団本部防災活動車、日本消防協会より寄贈。防災センターへ配置。
平成30年	3月	6日	日本消防協会より表彰竿頭綬を授与。
平成30年	3月	27日	JA高知県共済農業協同組合より高度救命資機材寄贈。2B救急車購入、消防本部へ配置。
平成30年	3月	28日	伊尾木分団下山班屯所新築工事竣工。 消防団運搬車2台購入、中央分団・穴内分団へ配置。
平成30年	3月	31日	本部次長兼署長兼課長松本照秋氏退任。 職員1名退職。実員37名。
平成30年	4月	1日	本部次長兼署長兼課長に小松定男氏就任。 職員1名採用。実員38名。
平成30年	4月	20日	職員1名退職。実員37名。
平成30年	7月	31日	7代目消防団長野町久壽昭氏退任。
平成30年	8月	1日	8代目消防団長に安部正治氏就任。
平成30年	11月	30日	救助用ボート一式購入、消防本部へ配置。
平成30年	12月	6日	軽自動車購入、消防本部へ配置。
平成31年	3月	5日	消防団運搬車2台購入、伊尾木分団・畑山分団へ配置。
平成31年	3月	31日	職員1名退職。実員36名。
平成31年	4月	1日	職員4名採用。実員40名。
令和元年	9月	3日	小型ポンプB2級2台購入、奈比賀屯所・畑山の和田格納庫へ配置。
令和元年	12月	24日	消防団赤バイク2台購入、防災センターへ配置。
令和2年	2月	28日	消防団運搬車2台購入、安芸分団、東川分団へ配置。
令和2年	3月	31日	11代目消防長松本龍二氏退任。 本部次長兼消防署長小松定男氏退任。 職員4名退職。実員36名。

令和 2年 4月 1日	12代目消防長に松田静幸氏就任。 本部次長兼消防署長に仙頭稔史氏就任。 職員1名採用。高知県消防防災航空隊へ派遣していた消防職員1名戻る。実員38名。
令和 2年 8月 5日	小型ポンプB3級2台購入、内原野格納庫・上尾川格納庫へ配置。
令和 2年10月15日	全国共済農業協同組合連合会高知県支部より高度救命資機材・消防本部指令車を寄贈。消防本部へ配置。
令和 2年11月17日	消防団ポンプ車2台購入、赤野分団・井ノ口分団へ配置。
令和 2年11月19日	消防団ポンプ車2台購入、中央分団・畑山分団へ配置。
令和 2年12月23日	消防団救命ボート12隻購入、10分団・2班（江川・下山）へ配置。
令和 3年 2月26日	消防団運搬車2台購入、赤野分団・川北分団へ配置。
令和 3年 3月13日	消防団ポンプ車1台購入、東川分団へ配置。
令和 3年 3月31日	12代目消防長松田静幸氏退任。職員1名退職。実員37名。
令和 3年 4月 1日	13代目消防長仙頭稔史氏就任。 本部次長兼消防署長寺岡勝浩氏就任。実員37名。
令和 3年 7月 5日	小型ポンプC1級2台購入。
令和 3年 9月29日	電動式大型油圧救助器具（ラムシリンダー）購入、消防本部へ配置。
令和 4年 1月13日	職員1名退職。実員36名。
令和 4年 1月14日	消防救急デジタル携帯型無線機購入、消防本部へ配置。
令和 4年 3月31日	職員1名退職。実員35名。
令和 4年 4月 1日	職員2名採用。実員37名。
令和 4年 7月 6日	小型ポンプC1級1台購入、畑山分団へ配置。
令和 4年 7月31日	8代目消防団長安部正治氏退任。
令和 4年 8月 1日	9代目消防団長に中川洋文氏就任。
令和 4年11月15日	高度救急処置シミュレーター購入、消防本部へ配置。
令和 5年 3月31日	13代目消防長仙頭稔史氏退任。 職員2名退職。実員35名。
令和 5年 4月 1日	14代目消防長久川陽氏就任。（市役所より出向） 職員2名採用。実員38名。
令和 5年 8月30日	災害対策用ドローン1台購入、消防本部へ配置。
令和 5年12月28日	消防団ポンプ車購入、穴内分団・川北分団（江川班）へ配置。
令和 6年 3月31日	職員1名退職。実員37名。
令和 6年 4月 1日	職員1名採用。実員38名。

令和 5 年 総 務

【庶 務】

1. 安芸市の位置
2. 安芸市の市勢
3. 消防職団員消防車に対する比較
4. 現有消防力に対する基準数(消防署)
5. 安芸市消防の組織
6. 事務分掌
7. 消防庁舎等の現況

【財 政】

1. 財政状況(平成13年度～令和5年度)
2. 令和4年度・令和5年度決算額

【人事教養】

1. 職員定数及び配置状況
2. 職員勤続年数状況
3. 職員年齢別状況
4. 職員研修修了状況
5. 職員特殊技能資格取得状況
6. 歴代消防長・署長
 - (ア)歴代消防長
 - (イ)歴代消防署長

※令和6年4月1日現在で収録

庶 務

1. 安芸市の位置

位 置	東 北	経 緯	1 3 3 ° 4 5 ' 3 3 ° 3 0 '
面 積	3 1 7 . 1 6 k m ²		

2. 安芸市の市勢

国 勢 調 査 (令和 2 年)	人 口	1 6 , 2 4 3 人
	世 帯 数	7 , 2 9 5 世帯
住 民 基 本 台 帳 (R. 6. 3. 31)	人 口	1 5 , 7 4 3 人
	世 帯 数	7 , 9 1 2 世帯

3. 消防職団員消防車に対する比較

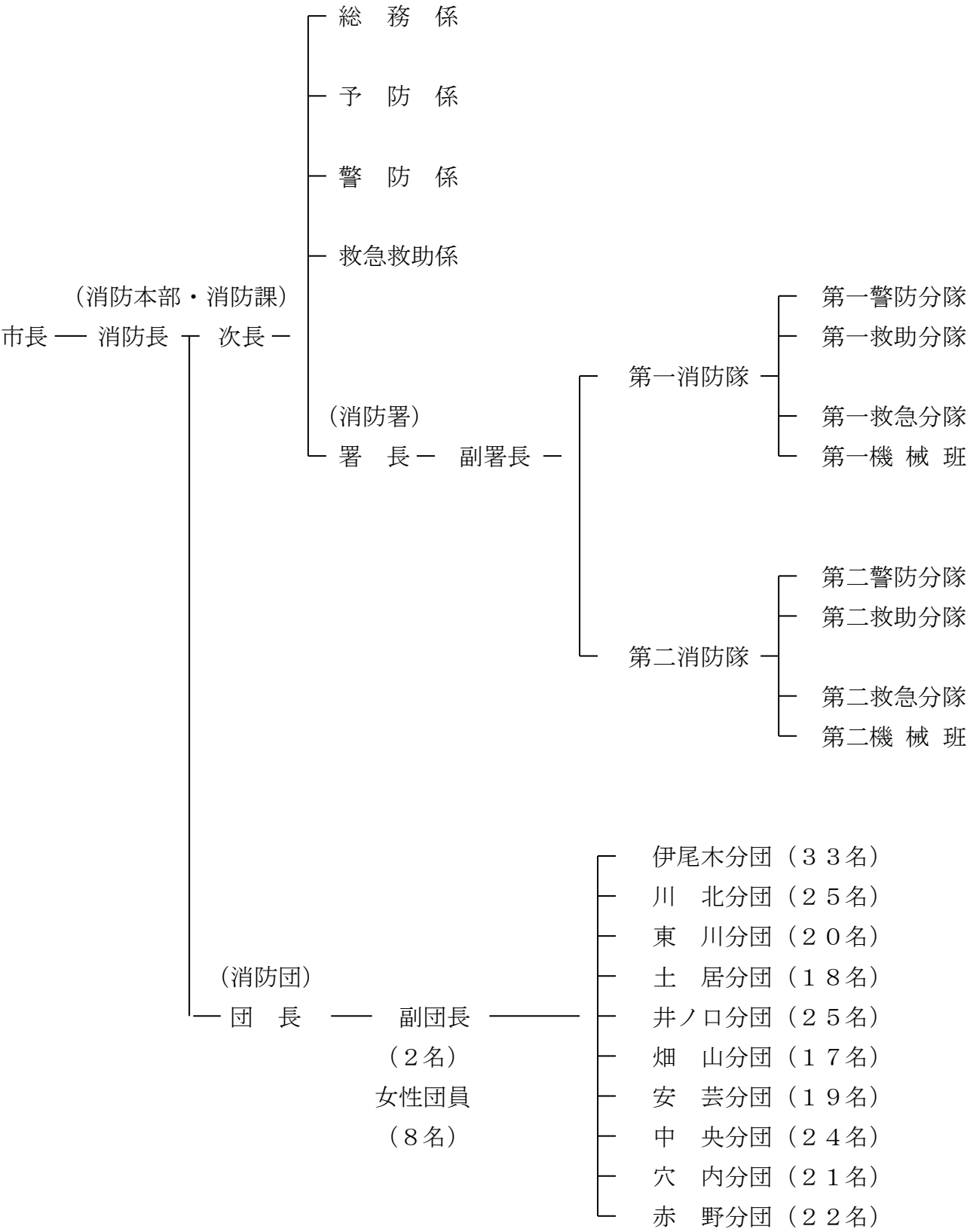
		面 積 (k m ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	備 考
消防職員 1 人につき	人	8. 35	(427) 414	(192) 208	()は国調に 対するもの 他は住民基本 台帳
消防団員 1 人につき	人	1. 31	(67) 66	(30) 33	
ポンプ車 1 台につき	署 2 台	158. 6	(8, 122) 7, 871	(3, 648) 3, 956	
	団 1 0 台	31. 7	(1, 624) 1, 574	(730) 791	

4. 現有消防力に対する基準数 (消防署)

区 分		基 準		過 有 (+) 不足 (-)	
施 設	署 所	市街地 (10. 000=1)	1	1	0
	消 防 車	消 防 車	2	2	0
	救 急 車	救 急 車	2	2	0
人 員	署 所 要 員	消 防 隊 員	2 7	1 3	－ 1 4
		救 急 隊 員	1 8	1 4	－ 4
		救 助 隊 員	1 5	0	－ 1 5
		通 信 要 員	3	0	－ 3
		予 防 要 員	4	2	－ 2
		指 揮 隊 員	3	3	0
		庶 務 等	3	1	－ 2
備 考		現有消防力 (R. 6. 4. 1.)			

5. 安芸市消防の組織

消 防 機 関



6. 事 務 分 掌

総 務 係

1. 消防予算に関すること。
2. 公印の保管、文書の収発に関すること。
3. 条例、規則等の改廃に関すること。
4. 消防施設の営繕管理及び総合企画に関すること。
5. 職員の人事教養及び福利厚生に関すること。
6. 職員の被服等の貸与品の調達支給に関すること。
7. 消防団事務に関すること。
8. 高知縣市町村総合事務組合事務に関すること。
9. 職員委員会に関すること。
10. 表彰に関すること。
11. 服務に関すること。
12. その他、他の係に属さないこと。

予 防 係

1. 危険物の許可、認可、届出、検査に関すること。
2. 防火管理者に関すること。
3. 消防用設備の検査及び指導に関すること。
4. 予防査察に関すること。
5. 火災予防の指導取締りに関すること。
6. 防火思想の普及、啓発に関すること。
7. 建築物の同意事務に関すること。
8. 化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和 42 年法律第 149 号)に基づく意見書の交付に関すること。
9. 火薬類取り締まりに関すること。
10. 高圧ガス保安法に関すること。
11. 防火クラブに関すること。
12. 火災等の原因調査に関すること。
13. 火災等の報告等に関すること。
14. 罹災証明に関すること。
15. 火災統計に関すること。
16. その他、予防・原因調査に関すること。

警 防 係

1. 水防、警防計画に関すること。
2. 災害時の警戒防御、応急対策に関すること。
3. 消防通信施設の運用管理に関すること。
4. 火災警報の発令解除に関すること。
5. 消防気象に関すること。
6. 消防地理及び水利に関すること。
7. 消防用機械器具の整備保全に関すること。
8. 公衆の出入りする場所等の警備に関すること。
9. 消防職、団員の訓練、礼式に関すること。
10. 自衛消防隊の訓練指導に関すること。
11. 防災訓練に関すること。
12. 消防車両等の整備に関すること。
13. 応援協定、広域受援に関すること。
14. その他、警防事務に関すること。

救急救助係

1. 救急法の指導に関すること。
2. 救急用資機材の配備保全に関すること。
3. 救急車両の整備保全に関すること。
4. 救急業務の計画及び調査研究に関すること。
5. 医療機関との連絡調整に関すること。
6. 救急に係る技術、装備の研究に関すること。
7. 搬送・出動等の証明に関すること。
8. 救助用資機材の配備保全に関すること。
9. 救助車両の整備保全に関すること。
10. 救助業務の計画及び調査研究に関すること。
11. 救助に係る技術、装備の研究に関すること。
12. 水中の救助に関すること。
13. その他、救急救助に関すること。

7.消防庁舎等の現況

		床面積	建築面積 (延べ面積)	敷地面積	建築物構造
1階	エントランスホール 車庫 消毒室 出動準備室 油庫 男女共用トイレ	892.57 m ²	1,023.61 m ² (3,051.38 m ²)	4,864.61 m ²	1階鉄筋コンクリート造 2～3階鉄骨造
2階	事務室 更衣室 放送室 通信指令室 通信機器室 消防長室 食堂 仮眠室 資材室 市民ギャラリー 多目的トイレ 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m ²			
3階	避難室 (347 m ²) 会議室相談室 消防団本部 災害対策本部 女子仮眠室 倉庫 男子トイレ 女子トイレ	881.31 m ²			
4階	発電機室 (58時間対応)	66.49 m ²			
訓練施設	訓練主塔 訓練副塔	219.8 m ² 109.9 m ²			
	ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出 引揚救助 ほふく救出			障害突破 はしご登はん ロープ応用登はん	

財 政

1. 財政状況（平成13年度～令和5年度）

区 分 年 度	一般会計決算額 (円)	消防決算額 (円)	比率	住民基本台帳		消 防 費	
				人口	世帯	1 人 (円)	1 世帯 (円)
13	13,381,325,000	369,602,991	2.76	21,421	8,276	17,254	44,660
14	13,471,163,450	357,222,708	2.65	21,739	8,982	16,432	39,771
15	12,644,516,194	327,126,765	2.59	21,481	8,916	15,229	36,690
16	11,316,555,887	346,900,300	3.07	21,866	8,982	15,865	38,622
17	12,025,447,644	329,192,639	2.74	21,248	8,918	15,493	36,913
18	10,392,795,990	304,887,338	2.93	21,111	8,964	14,442	34,012
19	10,826,719,000	320,431,203	2.96	20,392	8,875	15,714	36,105
20	10,791,726,326	299,002,535	2.77	20,135	8,879	14,850	33,675
21	11,591,112,476	367,044,206	3.17	19,899	8,869	18,445	41,385
22	11,497,003,171	352,299,110	3.06	19,642	8,830	17,936	39,898
23	13,292,394,000	485,313,255	3.65	19,377	8,793	25,046	55,193
24	12,932,834,276	1,290,297,259	9.98	19,106	8,702	67,534	148,276
25	12,398,113,360	328,716,707	2.65	18,824	8,669	17,463	37,919
26	12,687,579,362	391,492,026	3.09	18,458	8,564	21,210	45,714
27	13,804,088,550	352,233,043	2.55	18,100	8,496	19,460	41,459
28	12,843,049,671	361,237,991	2.81	17,786	8,442	20,310	42,791
29	12,431,587,993	391,513,368	3.15	17,548	8,384	22,311	46,698
30	12,667,872,285	368,442,523	2.91	17,266	8,314	21,339	44,316
元	13,945,871,975	380,701,494	2.73	16,966	8,242	22,439	46,190
2	16,793,764,827	497,627,041	2.96	16,716	8,154	29,770	61,029
3	16,744,044,047	309,580,105	1.85	16,869	8,245	18,352	37,548
4	22,862,754,000	392,203,504	1.72	16,097	8,002	24,365	49,013
5	21,831,554,308	550,259,280	2.52	15,743	7,912	34,953	69,547

令和4年度・令和5年度決算額（内訳）

項 目	節	令和4年度金額	令和5年度	
			金 額	消防費決算 に対する割合
常備 消防費	給 与	123,044,400	129,210,975	52.39%
	職 員 手 当	78,418,262	86,365,863	
	共 済 費	39,479,493	41,396,181	
	報 償 費	10,000	0	
	旅 費	986,935	437,867	
	需 用 費	13,540,571	12,739,409	
	役 務 費	3,886,781	2,758,526	
	委 託 料	8,661,020	7,887,105	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	559,494	602,964	
	工 事 請 負 費	0	1,100,000	
	原 材 料 費	99,900	0	
	備 品 購 入 費	19,653,370	1,564,871	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	5,877,702	4,017,018	
	公 課 費	192,000	219,800	
	小 計	294,409,928	288,300,579	
非常備 消防費	報 酬	10,841,077	10,867,354	6.27%
	報 償 費	2,992,572	802,400	
	旅 費	2,966,869	5,213,867	
	需 用 費	3,496,500	2,924,387	
	役 務 費	884,064	642,759	
	委 託 料	258,720	258,720	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	156,255	145,629	
	備 品 購 入 費	338,800	5,259,320	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	8,108,245	8,112,068	
	公 課 費	542,200	271,800	
	小 計	30,585,302	34,498,304	
消防 施設費	旅 費	0	31,000	41.29%
	需 用 費	794,907	1,010,254	
	役 務 費	889,163	3,178,039	
	委 託 料	14,234,000	51,106,000	
	使 用 料 及 び 賃 借 料	0	13,280	
	工 事 請 負 費	17,754,000	103,038,100	
	公 有 財 産 購 入 費	27,861,511	18,349,932	
	備 品 購 入 費	1,254,000	49,496,040	
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	0	330,000	
	補 償 補 て ん 及 び 賠 償 金	3,069,048	644,266	
	公 課 費	0	12,400	
	小 計	65,856,629	227,209,311	
災害 対策費	需 用 費	140,932	193,559	0.05%
	役 務 費	16,000	16,000	
	委 託 料	0	0	
	原 材 料 費	10,190	41,527	
	小 計	167,122	251,086	
合 計		391,018,981	550,259,280	100%

人事教養

1. 職員定員及び配置状況

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
定 員									40
実 員		1	10	7	8	5	7		38
配 置	本 部	1	4	1	1		1		8
	署		6	6	7	5	6		30

2. 職員勤続年数状況

階 級 別 区 分	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
5 年未満	1				3	6		10
5 年以上～10 年未満				1	1	1		3
10 年以上～15 年未満				6	1			7
15 年以上～20 年未満			3	1				4
20 年以上～25 年未満		1	3					4
25 年以上～30 年未満		3	1					4
30 年以上		6						6
計	1	10	7	8	5	7		38

3. 職員年齢別状況

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
18歳以上～20歳未満							2		2
20歳以上～25歳未満							3		3
25歳以上～30歳未満					2	3	2		7
30歳以上～35歳未満					3	2			5
35歳以上～40歳未満				1	3				4
40歳以上～45歳未満				5					5
45歳以上～50歳未満			3	1					6
50歳以上～55歳未満			6						4
55歳以上		1	1						2
計		1	10	7	8	5	7		38

4. 職員研修修了状況

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	無 階 級	計
消 防 大 学	上 級 幹 部 科								
	新 任 消 防 長 科								
	予 防 科		1						1
	警 防 科								
	火 災 調 査 科		1						1
高 知 県 消 防 学 校			10	7	8	5	6		36
救 急 専 科 教 養			8	2					10
救 急 II 課 程			8	2					10
救 急 標 準 課 程				5	8	5	6		24
救 急 救 命 士			3	5	5	1			14

5. 職員特殊技能資格取得状況

階級別 人数		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	無階級	計
		1	10	7	8	5	7		38
第二種	大型免許								
	普通免許								
第一種	大型免許		1	1					2
	中型免許				4	5	4		13
	中型免許（8t限定）	1	10	7	4				22
	準中型免許								
	準中型免許（5t限定）				4	5	2		11
	普通免許						4		4
	自動二輪		7	7	4	2	4		24
	特殊無線技師		8	7	6	5	6		35
消防設備点検資格者									
防火対象物点検資格者									
予防技術資格者（設備）			1	1		1			3
予防技術資格者（査察）			2	1	2	1			6
予防技術資格者（危険物）				1		1			2
危険物取扱者免許（乙第4類）			7	7	4	5	2		25
危険物取扱者免許（丙）			5	3	1				9
消防設備士（乙類第1類）			2	3					5
消防設備士（乙類第4類）			2	3					5
消防設備士（乙類第5類）			1	2					3
消防設備士（乙類第6類）			2	4					6
潜水士			6	7	7	3	2		25
小型船舶操縦士							1		1
可搬消防ポンプ等整備資格者				1					1
小型移動式クレーン			6	7	3	5	1		22
玉掛け			6	7	3	5	1		22

6. 歴代消防長・署長

(ア) 歴代消防長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初代	山 崎 初 男	自 昭和42年 4月 1日 至 昭和49年 9月 4日	7年5ヶ月 安芸市長 事務取扱い
2代	岡 村 喜 郎	自 昭和49年 9月 5日 至 昭和51年 3月 31日	1年7ヶ月 安芸市長 事務取扱い
3代	伊 藤 嘉 幸	自 昭和51年 4月 1日 至 昭和60年 3月 31日	9年
4代	山 崎 勲	自 昭和60年 4月 1日 至 平成 4年 3月 31日	7年
5代	仙 頭 齊	自 平成 4年 4月 1日 至 平成 6年 3月 31日	2年
6代	森 田 修 一	自 平成 6年 4月 1日 至 平成12年 3月 31日	6年
7代	横 山 壽美男	自 平成12年 4月 1日 至 平成20年 3月 31日	8年
8代	有 澤 誠 郎	自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日	1年
9代	小 松 敏 伸	自 平成21年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	4年
10代	仙 頭 義 文	自 平成25年 4月 1日 至 平成29年 3月 31日	4年
11代	松 本 龍 二	自 平成29年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日	3年
12代	松 田 静 幸	自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日	1年
13代	仙 頭 稔 史	自 令和 3年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日	2年
14代	久 川 陽	自 令和 5年 4月 1日 至 現在	

(イ) 歴代消防署長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初代	小 松 亦吾郎	自 昭和42年 4月 1日 至 昭和50年 3月 31日	8年 本部次長兼任
2代	伊 藤 嘉 幸	自 昭和50年 4月 1日 至 昭和54年 3月 31日	4年 消防長兼任
3代	森 澤 民 平	自 昭和54年 4月 1日 至 昭和59年 3月 31日	5年 本部次長兼任
4代	島 崎 賀 行	自 昭和59年 4月 1日 至 昭和62年 3月 31日	3年 本部次長兼任
5代	楠 瀬 要 一	自 昭和62年 4月 1日 至 平成 6年 3月 31日	7年 本部次長兼任
6代	横 山 壽美男	自 平成 6年 4月 1日 至 平成12年 3月 31日	6年 本部次長兼任
7代	小 松 精 一	自 平成12年 4月 1日 至 現在13年 3月 31日	1年 本部次長兼任
8代	大 野 雄 康	自 平成13年 4月 1日 至 現在18年 3月 31日	5年 本部次長兼任
9代	有 澤 誠 郎	自 平成18年 4月 1日 至 現在20年 3月 31日	2年 本部次長兼任
10代	小 松 昌 一	自 平成20年 4月 1日 至 平成25年 3月 31日	5年 本部次長兼任
11代	松 本 照 秋	自 平成25年 4月 1日 至 平成30年 3月 31日	5年 本部次長兼任
12代	小 松 定 男	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月 31日	2年 本部次長兼任
13代	仙 頭 稔 史	自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日	1年 本部次長兼任
14代	寺 岡 勝 浩	自 令和 3年 4月 1日 至 現在	本部次長兼任

令和5年 警防

安芸市消防本部

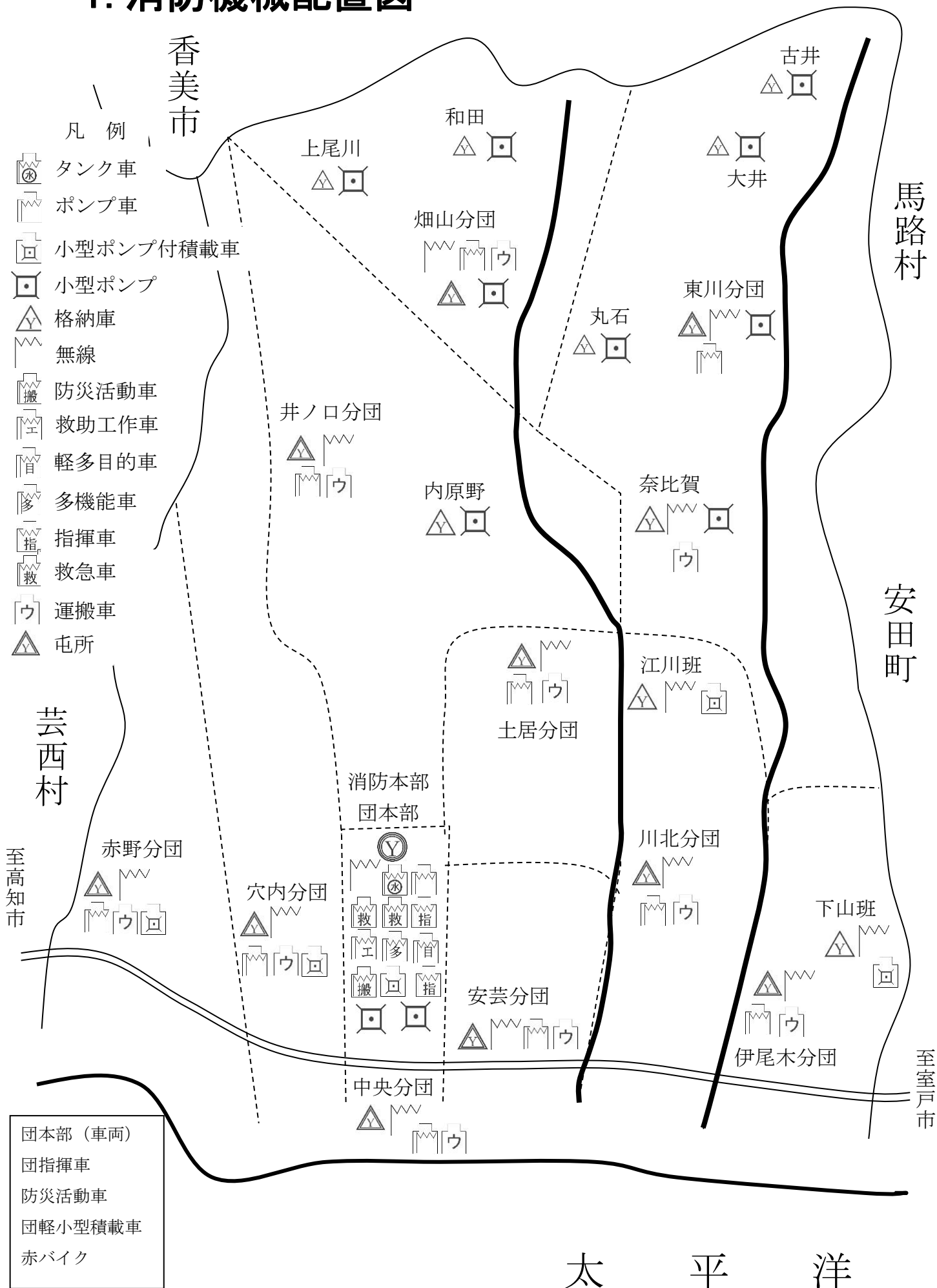
(機材・水利)

1. 消防機械配置図
2. 消防水利状況（防火水槽）
3. 消防団現有配備・消防水利充足状況
4. 消防署現有配備・消防通信設備状況
5. 消防資器材

(通 信)

1. 警防(通 信 デジタル波)
(固定局 安芸市防災行政無線)
2. 通信連絡系統表
3. サイレン遠隔制御装置
(安芸市防災行政無線・デジタル波)

1. 消防機械配置図



2. 消防水利状況（防火水槽）

地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度
市 街 地 (21)	黒 鳥		2 0 t 級		栃ノ木 (1)	東地		2 0 t 級	
	西 浜	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度					
	西 浜	耐震	4 0 t 級	平成 30 年度	尾 川 (4)	下尾川		2 0 t 級	
	西 浜	耐震	4 0 t 級	平成 25 年度		下尾川		2 0 t 級	
	西 浜	耐震	1 0 0 t 級	令和 2 年度		上尾川		2 0 t 級	
	東 浜	耐震	4 0 t 級	平成 13 年度		上尾川		2 0 t 級	
	東 浜	耐震	4 0 t 級	平成 30 年度	土 居 (9)	玉 造		2 0 t 級	
	宝永町	耐震	4 0 t 級	平成 13 年度		春 日		2 0 t 級	
	津久茂町		2 0 t 級			上中村	耐震	4 0 t 級	平成 28 年度
	津久茂町		2 0 t 級			溝ノ辺	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度
	千歳町		2 0 t 級			長 屋		4 0 t 級	
	千歳町	耐震	4 0 t 級	平成 8 年度		長 屋	耐震	4 0 t 級	令和 2 年度
	本町五丁目	耐震	4 0 t 級	平成 12 年度		西木戸	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度
	本町五丁目		2 0 t 級			廊 中		4 0 t 級	
	本町四丁目		2 0 t 級			廊 中		4 0 t 級	
	久世町		2 0 t 級		僧 津 (5)	僧 津		2 0 t 級	
	本町三丁目	耐震	4 0 t 級	平成 9 年度		僧 津		2 0 t 級	
	寿 町		2 0 t 級	平成 2 年度		僧 津	耐震	4 0 t 級	平成 16 年度
	本町一丁目		4 0 t 級			僧 津	耐震	4 0 t 級	令和 3 年度
	幸町	耐震	4 0 t 級	平成 18 年度		僧 津	耐震	4 0 t 級	令和 4 年度
赤 野 (11)	港町一丁目	耐震	4 0 t 級	令和 4 年度	川 北 (19)	新町		2 0 t 級	
	叶 岡		4 0 t 級			西の島	耐震	4 0 t 級	平成 21 年度
	叶岡前		4 0 t 級			中村		2 0 t 級	
	西ノ岡		2 0 t 級			西ノ岡		2 0 t 級	
	西 寄		4 0 t 級			西ノ岡		2 0 t 級	
	東 寄		2 0 t 級			コウジ		4 0 t 級	
	東 寄	耐震	2 0 t 級	平成 10 年度		八幡		2 0 t 級	
	桜浜		4 0 t 級			舞ヶ丘		2 0 t 級	
	東赤野		2 0 t 級			横山	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度
	山 田		4 0 t 級			横山		2 0 t 級	
穴 内 (20)	八 流		2 0 t 級			折坂	耐震	4 0 t 級	平成 26 年度
	堀 切		2 0 t 級			折坂		2 0 t 級	
	堀 切		2 0 t 級			折坂		2 0 t 級	
	六 丁		4 0 t 級			堂ノ尾		2 0 t 級	
	六 丁		4 0 t 級			堂ノ尾		2 0 t 級	
	六 丁		2 0 t 級			内原野	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度
	西 地	耐震	4 0 t 級	平成 12 年度		内原野	耐震	4 0 t 級	平成 19 年度
	西 地		2 0 t 級			内原野	耐震	3 0 t 級	平成 26 年度
	塩 屋		2 0 t 級			内原野	耐震	4 0 t 級	平成 17 年度
	奥ノ谷		2 0 t 級		伊 尾 木 (10)	西組		2 0 t 級	
	八丁ノ下		2 0 t 級			中組	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度
	八丁ノ下		2 0 t 級			中組		2 0 t 級	
	八 丁		2 0 t 級			中組		2 0 t 級	
	立 花		2 0 t 級			東組	耐震	4 0 t 級	平成 16 年度
	立 花	耐震	4 0 t 級	平成 19 年度		東組		4 0 t 級	
	刑 部		2 0 t 級			東組		2 0 t 級	
	刑 部	耐震	4 0 t 級	平成 28 年度		岡		4 0 t 級	
	新 城		2 0 t 級			岡		2 0 t 級	
	新 城		2 0 t 級		下 山 (9)	宮田岡	耐震	4 0 t 級	平成 19 年度
井 ノ 口 (14)	大 平		2 0 t 級			白馬		4 0 t 級	
	高台寺		2 0 t 級			不動	耐震	4 0 t 級	平成 13 年度
	高台寺		2 0 t 級			大山	耐震	4 0 t 級	平成 12 年度
	一ノ宮		2 0 t 級			大山		2 0 t 級	
	一ノ宮		4 0 t 級			西ノ浜		2 0 t 級	
	一ノ宮		2 0 t 級			浜ノ西		2 0 t 級	
	一ノ宮	耐震	4 0 t 級	令和 4 年度		浜ノ西		2 0 t 級	
	一ノ宮	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度		東地		2 0 t 級	
	黒岩		2 0 t 級			名綱	耐震	2 0 t 級	
	国重		2 0 t 級		畑 山 (4)	寺内		4 0 t 級	
	宮ノ上	耐震	4 0 t 級	平成 9 年度		谷口		4 0 t 級	
	宮ノ上		4 0 t 級			奈路		2 0 t 級	
	山田		2 0 t 級			和田		4 0 t 級	
	山田	耐震	4 0 t 級	平成 10 年度	大 井 (3)	中村		2 0 t 級	
	沢ノ平		4 0 t 級			丸石		2 0 t 級	
						大井		2 0 t 級	
					黒瀬 (1)	黒瀬		2 0 t 級	

地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度	地区名	設置場所	耐震	容量（t）	完成年度
古井（1）	伊田淵		20t級		合計		137		
奈比賀	奈比賀		20t級						
（2）	大江		40t級						
入河内	入河内		20t級						
	入河内		20t級						
	入河内		20t級						

3. 消防団現有配備・消防水利充足状況

区分	種 別	数 量	備 考
消防ポンプ	ポンプ車	10	市街地100%
	小型ポンプ付積載車	4	
	小型ポンプ	11	
	小型ポンプ付軽消防自動車	1	
消防水利	消 火 栓	666	市街地・土居・穴内・井ノ口 川北・伊尾木・赤野・他
	貯 水 槽	97	40 t (25) 20 t (72)
	耐震性貯水槽	40	100 t (1) 40 t (36) 30 t (1) 20 t (2)

4. 消防署現有配備・消防通信設備状況

消防ポンプ自動車	CD-I型	1台	
	水1-A型	1台	
	予備車	1台	
救 急 車	高規格型	2台	
	予 備 車	1台	
救助工作車		1台	
多機能車		1台	
軽多目的車		1台	
指 揮 車		1台	
小型ポンプ		2台	
消防用無線局			
デジタル波	基地局 (20W)	1基	(安芸市消防本部内)
	固定局 (50mW)	2基	(安芸市消防本部内・大山中継局内)
	移動局 (10W)	39基	
	〃 (5W)	16基	
防災行政無線			
デジタル波	基地局 (10mW)	1基	(安芸市消防防災センター内)
	中継局 (10mW・5W)	1基	(旭ヶ丘中継所内)
	再送信子局 (1mW・1W)	1基	(下山大山再送信子局内)
	固定局 (300mW・100mW・10mW・5mW・1mW)	69基	

5. 消防資機材

	品 名	数量		品 名	数量
一般救助器具	三連梯子	1	切断破壊器具	エアーソー	1
	ワイヤー梯子	1		電気ハンマードリル	2
	空気式救助マット	1		特殊斧（弁慶）	4
	救命索発射銃	2		指輪切断器具	1
	舟形担架	2		エンジンカッター	2
	救助用縛帯	1		チェーンソー	2
	フルボディハーネス	10		レシプロソー	1
	滑車	15		オグラ（マルチ）一式	1
	救助安全マット	3		オグラ（コンビ）一式	2
	張力計	1		ルーカス e - ドロリック（スプレッダー）	1
	マンホール救助資機材一式	1		ルーカス e - ドロリック（カッター）	1
	山岳用救助器具	各種	重量物排除器具	油圧ジャッキ	2
	カラビナ	各種		マイティバグ一式	1
	ピタゴール縛帯	4		マイティバグ用マット	4
	バーティカルストレッチャー	1		チルホール	1
	タイタン	1	隊員保護器具	空気呼吸器一式（ボンベ込）	15
				救助大会用呼吸器	2
				空気呼吸器用予備ボンベ	12
				耐電防護資機材一式	3
				特殊手袋（ケブラー製）	37
				陽圧式化学防護服	2
				ガス検知器	1
水難救助器具	個人用アクアラング一式	15	照明・その他の器具	発電機	8
	アクアラング用ボンベ	8		投光器	10
	BC ジャケット	4		空気充填機	1
	水中ライト	2		ジェットシューター	26
	救命胴衣	23		寝袋	4
	救命浮環（大 2・小 2）	4		送排風機一式	1
	レスキューチューブ	1			
	潜水用ヘルメット	6			
	救助用ボート	1			
	船外機一式	1			

1. 警防（通信 デジタル波）

区分 電波の形式	局の種類	呼 出 名 称	空中線 電力	設置場所及び 車輛名称等
5 K 8 0 G 1 D 5 K 8 0 G 1 E	基地局	あきしょうぼう	2 0 W	送 受 信 所 大山中継局内 通信所 消防本部内
2 M 5 0 G 7 W マイクロ波	固定局	あきしょうぼう こてい	50mW	消防本部内
〃	固定局	あきしょうぼう おおやま こてい	50mW	大山基地局内
5 K 8 0 G 1 D 5 K 8 0 G 1 E	移動局	あきしょうぼう 1	1 0 W	タンク車
〃	〃	あきしょうぼう 2	1 0 W	ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 3	1 0 W	救助工作車
〃	〃	あきしょうぼう 4	1 0 W	指揮車
〃	〃	あきしょうぼう 5	1 0 W	ポンプ予備車
〃	〃	あきしょうぼう 6	1 0 W	団防災活動車
〃	〃	あきしょうぼう 7	1 0 W	多機能車
〃	〃	あきしょうぼう 8	1 0 W	軽多目的車
〃	〃	あききゅうきゅう 1	1 0 W	救急車予備車
〃	〃	あききゅうきゅう 2	1 0 W	救急車
〃	〃	あききゅうきゅう 3	1 0 W	救急車
〃	〃	あきしょうぼう 9	1 0 W	団指揮車
〃	〃	あきしょうぼう 10	1 0 W	団軽四消防車
〃	〃	あきしょうぼう 20	1 0 W	伊尾木分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 21	1 0 W	伊尾木分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 22	1 0 W	下山班積載車
〃	〃	あきしょうぼう 23	1 0 W	川北分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 24	1 0 W	川北分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 25	1 0 W	江川班積載車
〃	〃	あきしょうぼう 26	1 0 W	東川分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 27	1 0 W	奈比賀班積載車
〃	〃	あきしょうぼう 28	1 0 W	土居分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 29	1 0 W	土居分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 30	1 0 W	井ノ口分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 31	1 0 W	井ノ口分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 32	1 0 W	畑山分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 33	1 0 W	畑山分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 34	1 0 W	安芸分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 35	1 0 W	安芸分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 36	1 0 W	中央分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 37	1 0 W	中央分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 38	1 0 W	穴内分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 39	1 0 W	穴内分団積載車
〃	〃	あきしょうぼう 40	1 0 W	赤野分団ポンプ車
〃	〃	あきしょうぼう 41	1 0 W	赤野分団積載車
〃	〃	あきしょうぼう 42	1 0 W	穴内分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 43	1 0 W	赤野分団運搬車
〃	〃	あきしょうぼう 50	1 0 W	卓上固定移動局
〃	〃	あきしょうぼう 51	1 0 W	可搬型移動局
〃	〃	あきしょうぼう 60～75	5 W	携帯 1～16

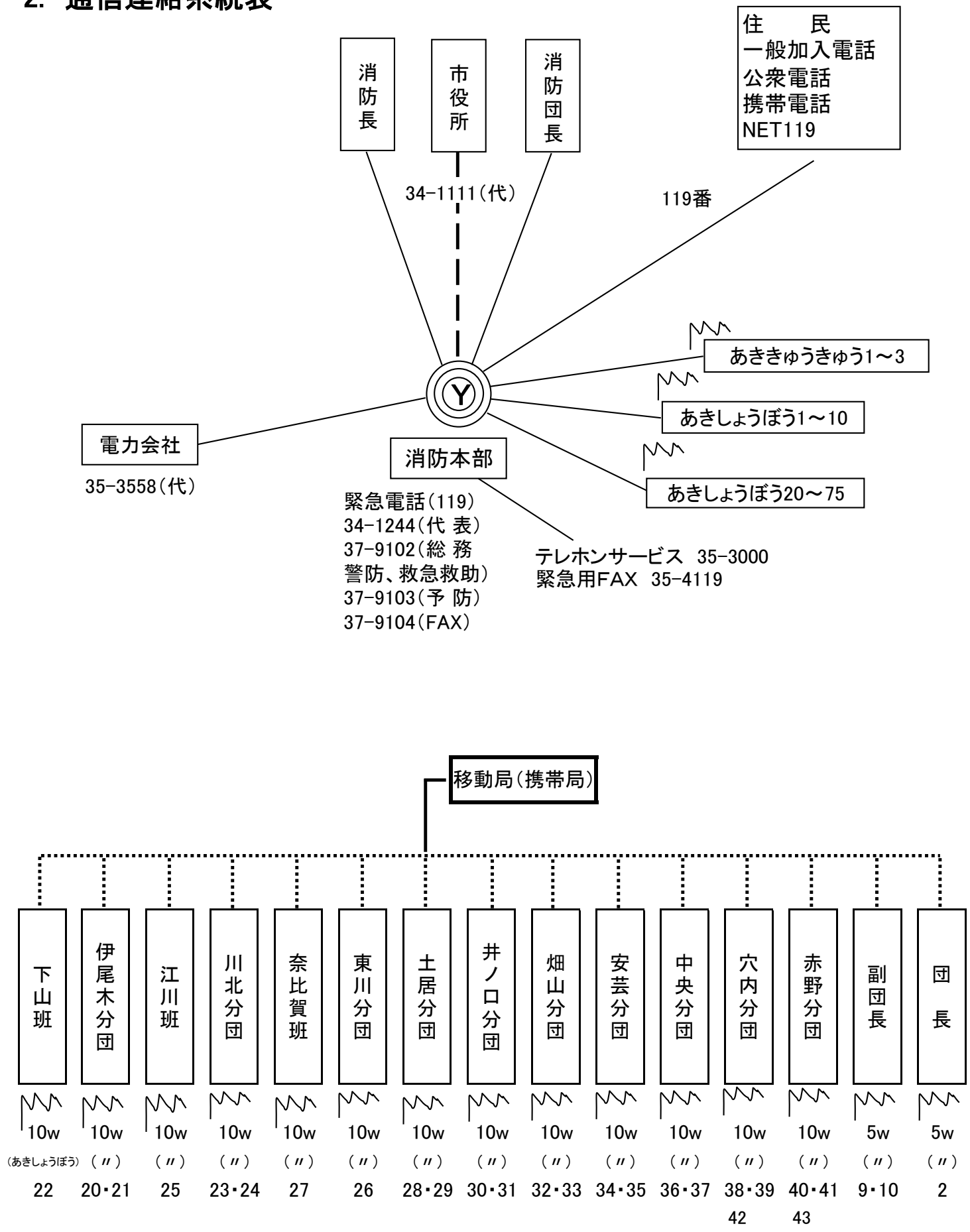
(固定局—安芸市防災行政無線)

電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
15K0D7W	固定局	矢ノ丸 1 丁目		旧安芸市役所西庁舎
〃	〃	安芸中学校	1 0 mW	旧安芸中学校西側市道
〃	〃	桜ヶ丘町	1 0 mW	安芸市総合運動公園
〃	〃	宝永町	1 0 mW	宝永集会所
〃	〃	千歳町		千歳町第 2 児童遊園
〃	〃	清和町		清和町児童遊園
〃	〃	寿町	1 mW	元気館
〃	〃	矢ノ丸 3 丁目	1 0 mW	安芸市民会館
〃	〃	港町 1 丁目		浄化センター南
〃	〃	津久茂町	1 0 mW	津久茂公民館
〃	〃	黒鳥	1 0 mW	黒鳥公民館
〃	〃	防災センター		安芸市消防防災センター
〃	〃	伊尾木保育所	1 0 0 mW	伊尾木保育所
〃	〃	伊尾木西組		伊尾木 1618-2 地先
〃	〃	伊尾木東組	1 0 mW	伊尾木小学校
〃	〃	下山不動		不動公園
〃	〃	下山河野	1 0 0 mW	下山 1466-5 先堤
〃	〃	下山漁港		伊尾木漁港
〃	〃	下山大山		大山配水地前市道
〃	〃	下山西ノ浜		下山小学校
〃	〃	下山浜ノ西	1 mW	下山字石ノ本 2449-1
〃	〃	川北西ノ島	1 0 mW	西ノ島集会所
〃	〃	川北栄町		旧川北園芸
〃	〃	川北上島	1 0 0 mW	川北公民館
〃	〃	川北清水寺岡	1 0 mW	清水ヶ丘中学校
〃	〃	川北久保田		川北水源地
〃	〃	川北中村		川北甲 412 番 6
〃	〃	川北西ノ岡		キセキレイの里西側市道
〃	〃	川北東ノ岡	3 0 0 mW	川北甲字荒地 114-2
〃	〃	伊尾木宮田岡	1 0 mW	宮田岡集会所
〃	〃	内原野	1 0 mW	内原野住宅団地内
〃	〃	江川	1 0 0 mW	江川公民館
〃	〃	奈比賀	1 mW	川北小学校奈比賀分校
〃	〃	入河内	1 mW	東川公民館
〃	〃	土居春日	1 0 mW	春日玉造集会所

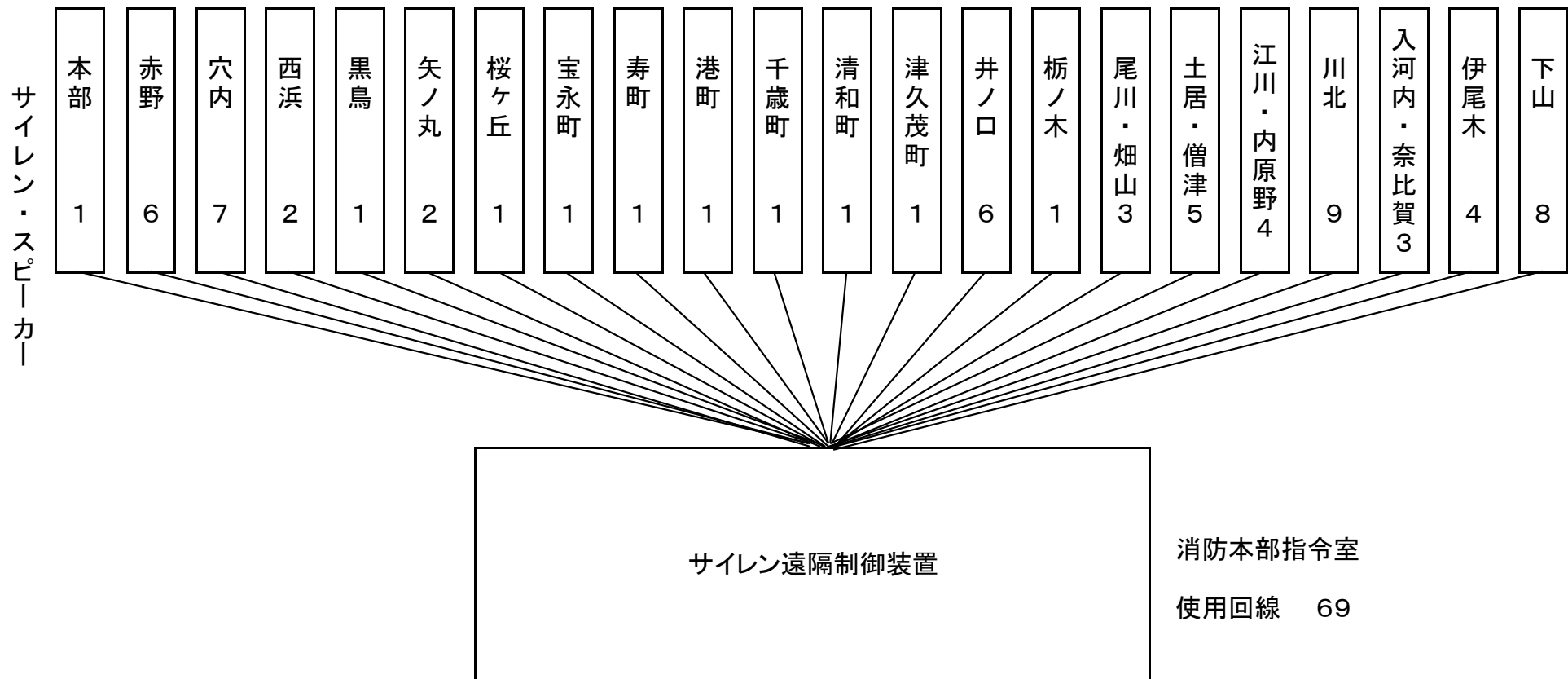
電波の型式	局の種類	子局箇所名	空中線電力	設置場所
15K0D7W	固定局	土居上中	1 0 mW	土居字上中村 1427-3
〃	〃	土居長屋	1 0 mW	土居公民館
〃	〃	僧津	1 0 mW	僧津集会所
〃	〃	井ノ口高台寺	1 0 mW	高台寺市営住宅内公園
〃	〃	井ノローノ宮		岩崎弥太郎生家南東側市道
〃	〃	井ノ口黒岩	1 0 mW	井ノ口公民館
〃	〃	井ノ口山田	1 mW	山田グラウンド
〃	〃	栃ノ木	5 mW	栃ノ木公民館
〃	〃	下尾川	1 mW	尾川甲 253-3 地先
〃	〃	畑山		畑山公民館
〃	〃	穴内腰掛		穴内乙 688-21
〃	〃	穴内大平	1 0 mW	穴内大平新城集会所
〃	〃	穴内八丁ノ下	3 0 0 mW	穴内乙 2331-2 地先
〃	〃	穴内塩屋	1 0 0 mW	穴内公民館
〃	〃	穴内八流		穴内甲 51-6
〃	〃	赤野山田	1 0 mW	赤野山田集会所
〃	〃	赤野桜浜		赤野分団屯所
〃	〃	赤野東赤野		赤野乙 3061-2
〃	〃	赤野西寄	3 0 0 mW	赤野西寄集会所
〃	〃	赤野叶岡	1 0 0 mW	叶岡集会所
〃	〃	井ノ口横立	1 mW	横立集会所
〃	〃	内原野公園		内原野公園
〃	〃	穴内小学校	1 0 0 mW	穴内小学校
〃	〃	赤野住吉		赤野乙 2933-176
〃	〃	穴内六丁	1 mW	穴内甲 1094 番 2
〃	〃	西浜馬ノ丁		西浜 2726 番 5
〃	〃	下山河野		下山 1458-6
〃	〃	下山西地		下山 839 番 1
〃	〃	畑山谷口		畑山甲 777 番 1
〃	〃	奈比賀本村		奈比賀分団屯所
〃	〃	井ノ口松原		井ノ口乙 3739 番 1
〃	〃	川北横山		川北乙 2084 番 4
〃	〃	川北八幡		川北甲 5440 番 1
〃	〃	安芸市役所 新庁舎		土居 82-1

※空中線電力が空白の子局は受信のみ、アンサーバック無し。

2. 通信連絡系統表



3. サイレン遠隔制御装置(安芸市防災行政無線・デジタル波)

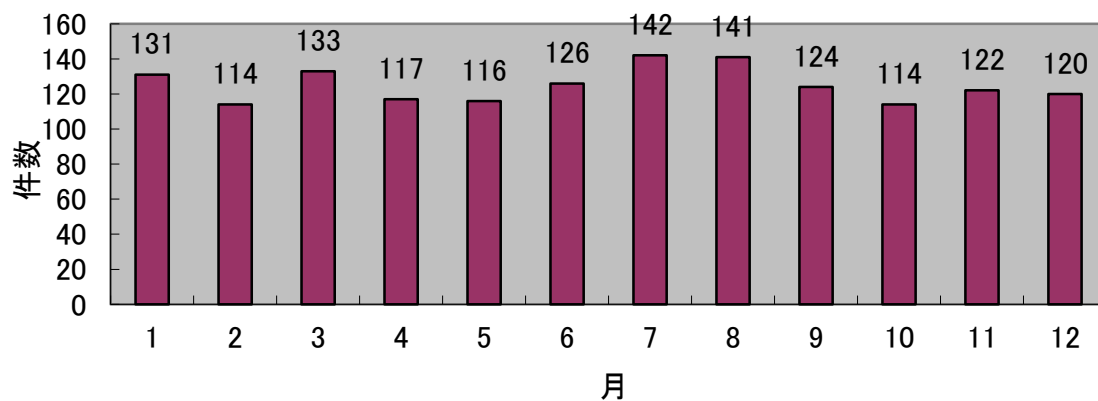


令和5年救急統計

安芸市消防本部

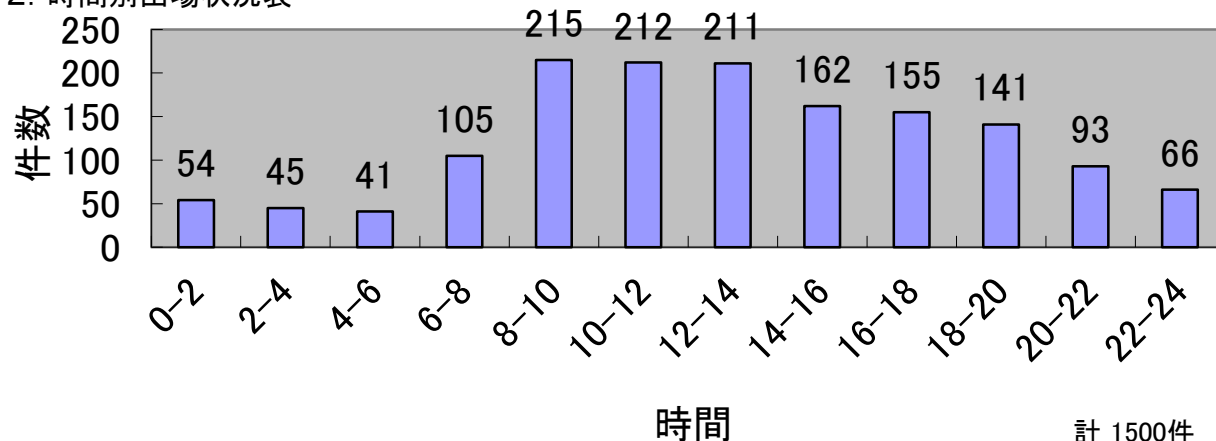
- 1 月別出場状況表
- 2 時間別出場状況表
- 3 曜日別出場状況表
- 4 事故種別出場状況表
- 5 救急出場件数
- 6 搬送人員
- 7 年齢別・傷害程度別搬送人員
- 8 事故種別理由別不搬送件数
- 9 救急隊員の行った応急処置件数
- 10 覚知別・傷害別件数
- 11 事故種別年齢区分別搬送人員
- 12 事故種別傷害程度別搬送人員
- 13 現場到着所要時間別出場件数
- 14 収容所要時間別搬送人員
- 15 事故種別医療機関別搬送人員
- 16 救急法指導実施状況

1. 月別出場状況表



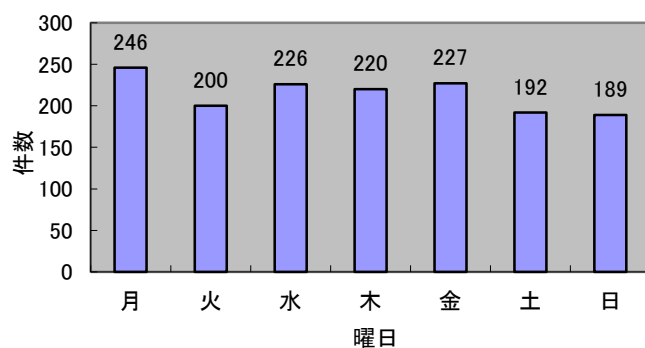
計 1500件

2. 時間別出場状況表



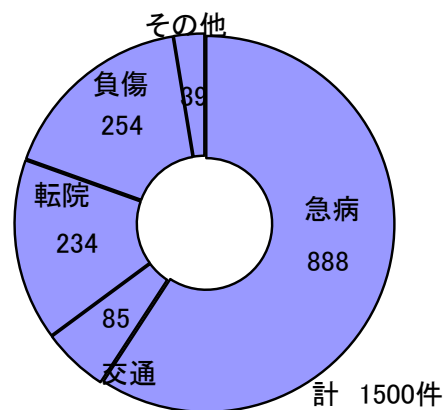
計 1500件

3. 曜日別出場状況表



計 1500件

4. 事故種別出場状況表



計 1500件

令和5年救急出場年報

1 月別出場状況表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	131	114	133	117	116	126	142	141	124	114	122	120	1500

2 時間別出場表

時間帯	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
件数	54	45	41	105	215	212	211	162	155	141	93	66	1500

3 曜日別出場状況表

曜	月	火	水	木	金	土	日	計
件数	246	200	226	220	227	192	189	1500

4. 事故種別出場件数

		火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他				計
												転院	医師	資機材	その他	
時 間 帯 別 内 訳	0～2				1			7			42	4				54
	2～4							6	3		34	2				45
	4～6							7			33	1				41
	6～8				6			13		1	79	6				105
	8～10				16	7	1	38		1	126	26				215
	10～12			2	20	2	4	47			96	41				212
	12～14				8	4	1	26		2	113	57				211
	14～16			1	5	3	1	24			95	33				162
	16～18				14	1		26	1		82	31				155
	18～20				7			35		1	78	20				141
	20～22			1	5			19		1	60	7				93
	22～24				3			6	1		50	6				66
	計			4	85	17	7	254	5	6	888	234				1500

5 救急出場件数

		火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他				計
												転院	医師	資機材	その他	
時間 帯 別 内 訳	0～2				1			7			42	4				54
	2～4							6	3		34	2				45
	4～6							7			33	1				41
	6～8				6			13		1	79	6				105
	8～10				16	7	1	38		1	126	26				215
	10～12			2	20	2	4	47			96	41				212
	12～14				8	4	1	26		2	113	57				211
	14～16			1	5	3	1	24			95	33				162
	16～18				14	1		26	1		82	31				155
	18～20				7			35		1	78	20				141
	20～22			1	5			19		1	60	7				93
	22～24				3			6	1		50	6				66
	計			4	85	17	7	254	5	6	888	234				1500

6 搬送人員

		搬 送 人 員											計
		火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	その他	
時間 帯 別 内 訳	0～2				1			4			33	4	42
	2～4							3	2		26	2	33
	4～6							6			29	1	36
	6～8				5			11			64	6	86
	8～10				16	6	1	36			114	25	198
	10～12			1	16	2	4	43			89	40	195
	12～14				6	4	1	25		2	104	57	199
	14～16			1	4	3	1	23			88	33	153
	16～18				12	1		24	1		70	31	139
	18～20				4			33		1	71	20	129
	20～22				5			16		1	52	7	81
	22～24				2			5			45	6	58
	計			2	71	16	7	229	3	4	785	232	1349

7 年齢別傷病程度別搬送人員

	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6歳	少 年 7歳～17歳	成 人 18歳～64歳	老 人 65歳以上	計
死 亡				3	23	26
重 症				23	158	181
中等症		9	7	75	483	574
軽 症	1	19	19	155	349	543
その他			1	9	15	25
計	1	28	27	265	1028	1349

8 事故種別不搬送理由別不搬送件数

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
辞退(到着前)				1			2			4			7
辞退(到着後)				12			18	2	1	61	1		95
拒否			1	1			2			5			9
明らかな死亡			1				1		1	26			29
他車(隊)搬送													
傷病者なし				4	1					2			7
誤報・いたずら													
その他				1			2			5	1		9
計			2	19	1		25	2	2	103	2		156

9 救急隊員の行った応急処置件数

	対象 人員	止血	固定	人工 呼吸	胸骨 圧迫	心肺 蘇生	酸素 吸入	気道 確保	保温	被覆	在宅 療法 継続	除細 動	静脈 路確 保	薬剤 投与	血糖 測定	ブドウ 糖投 与	血圧 測定	聴診 器で 聴診	血中 酸素 飽和	心電 図	その 他
急病	785	8	12	7	7	21	171	29	411	1		4	5	3	13	1	751	275	760	737	
交通	71	4	47			1	10	1	26	5							67	25	68	54	
負傷	229	30	65			1	14	1	120	17			1				225	41	228	185	
その他	264	6	15		1	4	75	5	143	5							258	59	259	232	
計	1349	48	139	7	8	27	270	36	700	28		4	6	3	13	1	1301	400	1315	1208	

10 覚知別・障害別件数

	出動件数	救急件数	取扱人員			内 訳									
						重 症		中等症		軽 症		死 亡		その他	
			男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
119番	388	345	165	180	345	13	20	71	65	70	88	7	5	4	2
携帯	672	585	306	279	585	36	25	110	105	141	140	8	4	11	5
警 察															
加入電話	424	403	201	202	403	47	40	109	108	44	50		2	1	2
庁内電話															
無線電話	4	4	2	2	4				1	2	1				
駆付報知	12	12	9	3	12			4	1	5	2				
その他															
計	1500	1349	683	666	1349	96	85	294	280	262	281	15	11	16	9

11 事故種別年齢区分別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
新生児							1						1
乳幼児				2			7			16	3		28
少 年				1		5	4		1	15	1		27
成 人				35	13	2	31	2	1	137	40	4	265
老 人			2	33	3		186	1	2	617	164	20	1028
計			2	71	16	7	229	3	4	785	208	24	1349

12 事故種別障害程度別搬送人員

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	負傷	加害	自損	急病	転院	その他	計
死 亡			1	1	1		1		1	20	1		26
重 症				6	3	1	41			68	55	7	181
中等症			1	14	2	2	77		3	334	128	13	574
軽 症				49	10	3	109	3		343	22	4	543
その他				1		1	1			20	2		25
計			2	71	16	7	229	3	4	785	208	24	1349

13 現場到着所要時間別出場件数

	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	2	2	422	404	58	888
交 通	1	2	29	47	6	85
一般負傷	3	8	127	105	11	254
その他	1	37	164	65	6	273
計	7	49	742	621	81	1500

14 収容所要時間別搬送人員

	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病		1	133	478	165	8	785
交 通			9	43	16	3	71
一般負傷		1	42	131	54	1	229
その他		5	39	151	62	7	264
計		7	223	803	297	19	1349

15 事故種別医療機関別搬送人員

		急 病		交通事故		一般負傷		その他		計	
			うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急医療機関	国 立	33	33			3	3	31	31	67	67
	公 立	644	72	54	7	184	22	138	65	1020	166
	公 的	28	28	5	5	13	13	30	30	76	76
	私 的	72	65	9	9	28	24	50	50	159	148
	病 院										
	診療所										
	計	777	198	68	21	228	62	249	176	1322	457
その他機関	国 立										
	公 立	1	1							1	1
	公 的										
	私 的	4	2					2	2	6	4
	病 院										
	診療所	1		2		1	1	1		5	1
	計	6	3	2		1	1	3	2	12	6
計	国 立	33	33			3	3	31	31	67	67
	公 立	645	73	54	7	184	22	138	65	1021	167
	公 的	28	28	5	5	13	13	30	30	76	76
	私 的	76	67	9	9	28	24	52	52	165	152
	病 院										
	診療所	1		2		1	1	1		5	1
	計	783	201	70	21	229	63	252	178	1334	463
その他の場所		2	2	1	1			12	12	15	15
合 計		785	203	71	22	229	63	264	190	1349	478

16 救急法指導実施状況

No	月	日	実 施 団 体	対 象 者	人 員	備 考
1	3	17	つつじの丘	職員	12	
2		29	商工水産課	職員	5	
3	4	25	伊尾木火葬場	職員	2	
4		26	おひさま保育所	職員、あきHP託児所	29	
5	5	17	洋寿荘	職員	19	
6		20	下山小学校	教職員、保護者	3	
7		24	洋寿荘	職員	19	
8		26	IHI	作業員	11	
9		31	井ノ口小学校	生徒、教職員	45	
10	6	1	芸西中学校	生徒	94	
11		6	川北小学校	生徒、教職員	23	
12		7	矢ノ丸保育園	職員、託児所	14	
13		8	矢ノ丸保育園	職員、託児所	12	
14		9	赤野小学校	教職員、保護者、生徒	26	
15		14	芸西幼稚園	職員	12	
15		15	キセキレイの里	職員	14	
16		16	土居小学校	教職員、PTA	17	
17		22	水難救助訓練	職員	8	
18		29	高度紙	職員	62	
19	7	30	伊尾木小学校	教職員、保護者、生徒	21	
20		3	安芸高校	教職員	58	
21		5	安芸森林管理署	教職員	35	
22		6	土佐ロイヤルホテル	プール監視員、従業員	12	
23		12	第一小学校	生徒、教職員	52	
24		14	芸西村プール監視員	監視員	11	
25		18	ファミリースイミング	水泳関係者	15	
26		19	穴内小学校	教職員、保護者	15	
27		28	川北保育所	教職員	5	
28		2	井ノ口保育所	職員、保護者	9	
29	8	7	ゆめファーム全農こうち	従業員	11	
30		7	ゆめファーム全農こうち	従業員	1	
31		25	安芸労働基準協会	アーク溶接特別教育受講者	6	
32	9	4	東部教育事務所	職員	16	
33		5	税務署	職員	14	
34		8	芸西保育所	職員、保護者	13	
35		22	石建組合同	従業員	38	
36	10	3	安芸福祉保健所	職員	30	
37		12	柳田地区自主防災	住民	11	
38	11	19	宝永町地区自主防災	住民	14	
39		21	ホップ日和	職員	5	
40		25	防災士	防災士	11	

一般救命講習	539
普通救命講習	168
上級救命講習	0
計	707

令和5年度 年報 予防

安芸市消防本部

1. 防火対象物数
2. 建築同意事務処理状況
3. 数量別危険物製造所等の数
4. 危険物関係事務処理状況
5. 火災予防条例に基づく各種届出状況
6. 消防法第9条の3に基づく届出状況
7. 消防手数料徴収状況(危険物)(煙火消費)
8. 3年間の火災統計
9. 3年間の地区別火災統計
10. 3年間(令和2年・3年・4年)の月別火災件数及び原因別火災件数調べ
11. 原因別(内訳)火災状況
12. 時刻別火災状況
13. 曜日別火災状況
14. 覚知別火災状況
15. 月別火災状況
16. 月別火災出動状況
17. 業務別火災発生状況

1. 防火対象物数

令和 6年 3月31日現在

項 目	種 類	安 芸 市			芸 西 村			計
		1～ 2F	3～ 6F	7F 以上	1～ 2F	3～ 6F	7F 以上	
一	イ	劇場、映画館、観覧場	2	1				3
	ロ	公会堂、集会場	16	1	4			21
二	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ	1					1
	ロ	遊技場、ダンスホール	1					1
三	イ	待合、料理店類						0
	ロ	飲食店	9	2	1	1		13
四		百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場	32	1	6			39
五	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	3	6			15
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	34	1	7	4	54
六	イ	病院、診療所、助産所	8	7	4	1		20
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム	5	4	2	1		12
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、保育所	16		4			20
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校			1			1
七		小、中、高、大、各種学校	20	18	2	2		42
八		図書館、博物館、美術館	2	1				3
十一		神社、寺院、教会の類	4		1			5
十二	イ	工場、作業場	32	1	6			39
十三	イ	自動車車庫又は駐車場	2		1			3
十四		倉庫	6	1	1			8
十五		前各項に該当しない事業所	42	16	13			71
十六	イ	複合用途防火対象物のうちその一部が特定用途に供されるもの	11	16	3	9	1	41
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1	2				3
十七		重要文化財、重要有形民族文化財	1					1
計		225	108	4	68	10	1	416

2. 建築同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
確認申請	安芸	1		1		2	1		3		4			12
	芸西						1							1
	計	1		1		2	2		3		4			13

(1). 月別、築造、同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新築	安芸	1					1		2		4			8
	芸西													
増築	安芸					1			1					2
	芸西													
移転	安芸													
	芸西													
改築	安芸													
	芸西													
その他	安芸			1		1								2
	芸西						1							1
計	安芸	1		1		2	1		3		4			12
	芸西						1							1

(2). 月別、構造別、同意事務処理状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
木造	安芸	1		1		1					1			4
	芸西													
鉄筋コン クリート	安芸													
	芸西													
鉄骨造	安芸					1	1		3		3			8
	芸西						1							1
コンクリー トブロック	安芸													
	芸西													
その他	安芸													
	芸西													
計	安芸	1		1		2	1		3		4			12
	芸西						1							1

3. 数量別危険物製造所等の数

令和6年 3 月 31 日現在

製造所等の別 数 量 別		五倍以下	五倍をこえ十倍以下	十倍をこえ五十倍以下	五十倍をこえ百倍以下	百倍をこえ百五十倍以下	百五十倍をこえ二百倍以下	二百倍をこえ千倍以下	合 計
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所								
	屋 外 "	2	4						6
	屋内 タンク 貯蔵所								
	屋 外 "	2	2	2	3				9
	地 下 "	13	4	2	1				20
	簡 易 "								
	移 動 "	14		1					15
	小 計	31	10	5	4				50
取 扱 所	一 般 取 扱 所	4	1	3	2				10
	給 油 "		1	9	2	4	1	3	20
	販 売 "								
	小 計	4	2	12	4	4	1	3	30
合 計		35	12	17	8	4	1	3	80

4. 危険物関係事務処理状況

区分 種別	貯蔵所							取扱所				計
	屋外タンク	移動タンク	屋内タンク	簡易タンク	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下タンク	給油取扱所	第一種販売所	第二種販売所	一般取扱所	
設置許可							1					1
変更許可							1					1
完成検査（設置）							2				1	3
完成検査（変更）							1					1
仮使用												0
軽微工事届							2					2
設置者・名称・地名変更届							2	1				3
譲渡・引渡し届												0
保安監督者選解任届								2				2
危険物貯蔵所品名・数量変更届												0
予防規程変更認可申請書								5				5
計							9	8			1	18

5. 火災予防条例に基づく各種届出状況

月別 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
火災とまぎらわしい届		1	3	1	1		4		4		2	1	17
少量危険物貯蔵取扱届	2	2		1		6		3			17		31
発電、変電、蓄電、給湯設備届	1		1	1	1	2	3			1	1	1	12
防火対象物使用開始届		1				1	2	1	2		2	2	11
煙火打上げ届													0
露店等の開設届	1		1	2	2	3	4	2			1	1	17
道路工事届	10	9	13	7	20	20	16	10	8	15	15	13	156
指定可燃物届						1							1
ボイラー設置届								1	1				2
温風暖房機設置届	2	2		1		6							11
計	16	15	18	13	24	39	29	17	15	16	38	18	258

6. 消防法第9条の3に基づく届出状況

月別 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
圧縮アセチレンガス等												1	1

7. 消防手数料徴収状況（危険物）

（単位：円）

区分 月別	危 険 物 関 係													
	設置許可		変更許可		設 置 完成検査		変 更 完成検査		完 成 検査前検査		仮使用 仮貯蔵		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4														
5														
6														
7	1	26,000			1	13,000							2	39,000
8					1	19,500							1	19,500
9					1	13,000							1	13,000
10														
11														
12														
1			1	13,000			1	6,500					2	19,500
2														
3														
計	1	26,000	1	13,000	3	45,500	1	6,500					6	91,000

消防手数料徴収状況（煙火消費）

（単位：円）

区分 月別	煙 火 消 費 許 可 関 係			
	消 費 許 可		合 計	
	件数	金額	件数	金額
7	2	15,800	3	23,700
9	1	7,900		

8. 3年間の火災統計

年別 区分	火災 件数	火災の種類			焼損面積		焼損棟数				損害額（千円）				死傷者	
		建物 火災	林野 火災	その他の火災 車輛・船舶	建物 (m ²)	林野 (a)	全 焼	半 焼	部分 焼	ボ ヤ	建物 火災	林野 火災	その他の火災 車輛・船舶	合 計	死 者	負 傷 者
3	10	4		6	111	1	4			1	985			985		
4	7	2		5	3					3	10		1,350	1,360	1	2
5	5	2		3						2	17			17		

※建物焼損面積は、焼損床面積と焼損表面積の合計です。

9. 3年間の地区別火災統計

年別 地区別	赤 野	穴 内	中 央	井 ノ 口	畑 山	安 芸	土 居	東 川	川 北	伊 尾 木	合 計
3			2			1			3	4	10
4	1		3						2	1	7
5						1	2	1		1	5

10. 3年間(令和3年・4年・5年)の

月別火災件数及び原因別火災件数調べ

年 別	火災原因 種別 月別	火 災 種 別						出 火 原 因 別		
		建 物	林 野	船 舶	車 両	そ の 他	計	失 火	放 火	そ 調 不 の 査 他 中 明
3	1 月	2					2	2		
	2 月					2	2	2		
	3 月									
	4 月	1					1	1		
	5 月									
	6 月									
	7 月	1					1	1		
	8 月									
	9 月				1		1	1		
	10 月					2	2	2		
	11 月									
	12 月					1	1	1		
	計	4			1	5	10	10		
4	1 月					1	1	1		
	2 月					2	2	2		
	3 月									
	4 月									
	5 月					1	1	1		
	6 月									
	7 月									
	8 月									
	9 月	1					1			1
	10 月	1				1	2		2	
	11 月									
	12 月									
	計	2				5	7	4	2	1
5	1 月	1					1	1		
	2 月					1	1	1		
	3 月					1	1	1		
	4 月									
	5 月									
	6 月					1	1	1		
	7 月									
	8 月									
	9 月									
	10 月									
	11 月									
	12 月	1					1	1		
	計	2				3	5	5		

11. 原因別（内訳）火災状況

（令和5年）

	件 数	比 率（％）	損害額（千円）	比 率（％）
たばこ				
ライター	1	20		
焚き火				
放火				
かまど				
枯れ草焼き	3	60		
不 明				
電気機器				
そ の 他	1	20	17	100
合 計	5	100	17	100

損害額別件数

10 万未満	5件
10 万 ～ 100 万未満	0件
100 万 ～ 1,000 万未満	0件
1,000 万以上	0件

12. 時刻別火災状況

(令和5年)

時刻 \ 月別	1 月	2 月	3 月	4 月	8 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
0 ~ 1													
1 ~ 2													
2 ~ 3													
3 ~ 4													
4 ~ 5													
5 ~ 6													
6 ~ 7													
7 ~ 8													
8 ~ 9													
9 ~ 10													
10 ~ 11			1										1
11 ~ 12													
12 ~ 13													
13 ~ 14													
14 ~ 15													
15 ~ 16		1				1							2
16 ~ 17	1												1
17 ~ 18													
18 ~ 19													
19 ~ 20													
20 ~ 21													
21 ~ 22													
22 ~ 23													
23 ~ 24												1	1
不 明													
計	1	1	1			1						1	5

13. 曜日別火災状況

(令和5年)

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1 月				1					1
2 月				1					1
3 月			1						1
4 月									
5 月									
6 月			1						1
7 月									
8 月									
9 月									
10 月									
11 月									
12 月				1					1
計			2	3					5

14. 覚知別火災状況

(令和5年)

覚 知 別	119			加入		事 後 聞 知	駆 込	警 察	無 線	そ の 他	計
	固 定	携 帯	そ の 他	固 定	携 帯						
件 数	1	1	1		1	1					5

15. 月別火災状況

(令和5年)

区 分 月 別	件数	罹災世帯	死傷者		焼損面積		損害額 (千円)
			死者	負傷者	建物㎡	林野 a	
1 月	1						0
2 月	1						0
3 月	1						0
4 月							
5 月							
6 月	1						0
7 月							
8 月							
9 月							
10 月							
11 月							
12 月	1						17
計	5						17

焼損面積欄の（ ）内は焼損表面積を記載したもの。

16. 月別火災出動状況

(令和5年)

区 分 月 別	出動ポンプ台数(内放水台数)			出動人員		
	署	団	計	署	団	計
1 月	2(2)	9(3)	11(5)	13	89	102
2 月	2(2)	4(0)	6(2)	9	18	27
3 月	2(1)		2(1)	7		7
4 月						
5 月						
6 月	2(2)		2(2)	5		5
7 月						
8 月						
9 月						
10 月						
11 月						
12 月						
計	8(7)	13(3)	21(10)	34	107	141

出動ポンプ台数については、出動全ポンプ台数と（ ）内に放水台数を記入。

17. 業態別火災発生状況

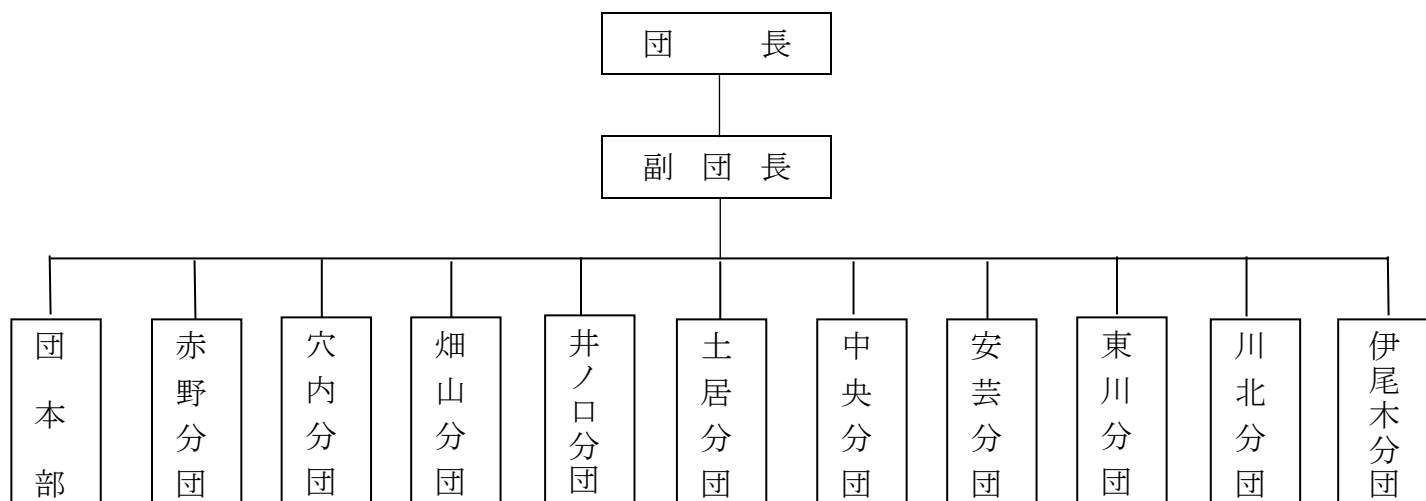
(令和5年)

月 別 防火対象物		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
建 物 火 災	住 宅													
	倉 庫													
	作 業 場													
	共 同 住 宅													
	そ の 他	1											1	2
林 野 火 災														
車 両 火 災														
船 舶 火 災														
そ の 他 火 災			1	1			1							3
計		1	1	1			1						1	5

令和 5 年度消防団

- 1 消防団機構
- 2 消防団定員及び実員数
- 3 消防団在職年数人員
- 4 消防団年齢別人員
- 5 消防団編成表
- 6 消防機械車齡別一覽表
- 7 機械器具配置狀況
- 8 ポンプ車配置狀況
- 9 指揮車、運搬車、小型ポンプ積載車
防災活動車配置狀況
- 10 小型ポンプ配置狀況
- 11 消防団幹部名簿
- 12 歴代団長
- 13 団員報酬調べ、年報酬(1 人当)
- 14 手当関係
- 15 安芸市消防団員表彰条例

1. 消防団機構



2. 消防団定員及び実員数

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
定 員	1	2	10	10	30	41	188	282
実 数	1	2	10	10	30	41	141	235

3. 消防団在職年数人員

項目 区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
団員数	43	53	40	32	19	18	30	235

4. 消防団年齢別人員

年齢 区分	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～	計
団員数	1	7	14	28	29	50	37	36	20	13	235

5. 消防団編成表

階 級 団 名	階 級 別 内 訳							
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
団 本 部	1	2				1	7	11
伊 尾 木 分 団			1	1	3	4	24	33
川 北 分 団			1	1	3	4	16	25
東 川 分 団			1	1	3	4	11	20
土 居 分 団			1	1	3	4	9	18
井 ノ 口 分 団			1	1	3	4	16	25
畑 山 分 団			1	1	3	4	8	17
安 芸 分 団			1	1	3	4	10	19
中 央 分 団			1	1	3	4	15	24
穴 内 分 団			1	1	3	4	12	21
赤 野 分 団			1	1	3	4	13	22
計	1	2	10	10	30	41	141	235

6. 消防機械車齢別一覧表

車 齢	区 分	ポンプ車	運搬車	積載車	指揮車	防災 活動車	小型ポンプ
1	年 以 内			2			2
2	〃						2
3	〃						2
4	〃	5	2				2
5	〃		2				
6	〃		2				
7	〃		2			1	1
8	〃		2				
9	〃	1					
10	〃	1					
11	〃	1					1
12	〃	1					
13	〃	1		1			
14	〃						
15	年 以 上			2	1		4
計		10	10	5	1	1	14

7. 機械器具配置状況

車 種	ポンプ車	運 搬 車	積 載 車	指 揮 車	防災活動車	小型ポンプ	計
台 数	10	10	5	1	1	14	41

8. ポンプ車配置状況

分団名	区分	登録番号	車 名	出 力 (ps)	年 式	規 格	ポンプ製作所
伊 尾 木		800さ7079	日野	150	2013	CD-1型	GMいちほら
川 北		800さ6724	トヨタ	150	2012	CD-1型	日機
東 川		800さ9252	いすゞ	135	1998	CD-1型	吉谷
土 居		800さ8174	トヨタ	150	2014	CD-1型	吉谷
井 ノ 口		800さ9143	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
畑 山		800さ9145	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
安 芸		800さ6461	トヨタ	150	2011	CD-1型	日機
中 央		800さ9144	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ
穴 内		800さ7678	トヨタ	150	2015	CD-1型	日機
赤 野		800さ9141	いすゞ	140	2020	CD-1型	モリタ

9. 指揮車、運搬車、防災活動車、積載車配置状況

分団名	区分	登録番号	車 名	年 式	用 途
伊 尾 木		800さ8710	トヨタ、ダイナ	2019	運 搬 車
伊 尾 木		800さ1036	ニッサン、アトラス	2000	小ボ ^積 積載車
川 北		800さ9236	トヨタ、ダイナ	2021	運 搬 車
川 北		800さ9924	いすゞ	2023	小ボ ^積 積載車
東 川		800さ8948	トヨタ、ダイナ	2020	運 搬 車
土 居		800さ8174	ニッサン、アトラス	2017	運 搬 車
井 ノ 口		800さ8173	ニッサン、アトラス	2017	運 搬 車
畑 山		800さ8709	トヨタ、ダイナ	2019	運 搬 車
安 芸		800さ8947	トヨタ、ダイナ	2020	運 搬 車
中 央		800さ8479	トヨタ、エース	2018	運 搬 車
穴 内		800さ8478	トヨタ、エース	2018	運 搬 車
穴 内		800さ9929	いすゞ	2023	小ボ ^積 積載車
赤 野		800さ3147	ニッサン、アトラス	2002	小ボ ^積 積載車
赤 野		800さ9241	トヨタ、ダイナ	2021	運 搬 車
本 部		800さ5788	スバル、レガシー	2009	指 揮 車
本 部		880あ418	ダイハツ、アトレー	2011	軽四 ^積 積載車
本 部		800さ8387	ミツビシ、デリカ	2017	防災活動車

10. 小型ポンプ配置状況

分団名	区分	配 置 別	ポンプ名	年 式	規 格	出 力
伊 尾 木		下 山	ラビット	2000	B 2	28
川 北		江 川	シバウラ	2023	B 2	33
東 川		奈比賀	シバウラ	2019	B 2	32
〃		入河内	シバウラ	2016	C 1	15
〃		丸 石	シバウラ	2021	C 1	15
〃		大 井	シバウラ	2021	C 1	15
〃		古 井	ラビット	2000	C 1	15
畑 山		栃ノ木	ラビット	2022	C 1	15
〃		和 田	トーハツ	2019	B 2	30
〃		上尾川	シバウラ	2020	B 3	55
井 ノ 口		内原野	トーハツ	2020	B 3	55
穴 内		穴 内	トーハツ	2023	B 2	30
赤 野		赤 野	ラビット	2002	B 3	50
本 部		本 部	トーハツ	2011	B 2	22

1 1. 消防団幹部名簿

階 級	所 属	氏 名
団 長	団 本 部	中 川 洋 文
副 団 長	団 本 部	小 松 貞 仁
副 団 長	団 本 部	西 岡 憲 幸
分 団 長	伊 尾 木 分 団	山 本 正 人
〃	川 北 〃	川 谷 一 隆
〃	東 川 〃	小 松 浩 二
〃	土 居 〃	畑 山 貴 宏
〃	井ノ口 〃	西 岡 大 作
〃	畑 山 〃	小 原 忠 明
〃	安 芸 〃	大 野 恵 三
〃	中 央 〃	山 下 正 一 郎
〃	穴 内 〃	前 田 貢
〃	赤 野 〃	尾 木 成 行

1 2. 歴代団長

代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	野 町 紀稔之助	自 昭和29年 8月 1日 至 昭和43年 7月31日	14 年
2 代	畑 山 丈 藏	自 昭和43年 8月 1日 至 昭和51年 7月31日	8 年
3 代	岡 村 幸 一	自 昭和51年 8月 1日 至 昭和55年 7月31日	4 年
4 代	岡 林 重 夫	自 昭和55年 8月 1日 至 昭和63年 7月31日	8 年
5 代	吉 永 秀 昭	自 昭和63年 8月 1日 至 平成 8年 7月31日	8 年
6 代	五 百 藏 溜	自 平成 8年 8月 1日 至 平成16年 7月31日	8 年
7 代	野 町 久 壽 昭	自 平成16年 8月 1日 至 平成30年 7月31日	14 年
8 代	安 部 正 治	自 平成30年 8月 1日 至 令和 4年 7月31日	4 年
9 代	中 川 洋 文	自 令和 4年 8月 1日 至 現在に至る	

1 3. 年額報酬（1人当）

団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
82,500 円	69,000 円	50,500 円	45,500 円	37,000 円	37,000 円	36,500 円

1 4. 出動報酬

職務	金額
水火災出動	1 日につき 8,000 円

1 5. 手当関係

費用弁償

職務		金額
警戒出動、捜索出動、その他の出動		1 日につき 4,000 円（ただし、1 回の服務時間が 4 時間を超える場合は、超過した時間 1 時間につき 1,000 円を加算して支給する。）
訓練、研修、会議、その他の消防活動		1 時間につき 1,000 円
機器整備	ポンプ自動車	1 回につき 430 円
	運搬車	1 回につき 280 円
	積載車	1 回につき 280 円
	小型動力ポンプ	1 回につき 280 円

16. 安芸市消防団員表彰条例

(昭和51年3月24日条例第14号)

第1条 この条例は、消防業務に精励し、その功績が顕著であった消防団員（以下「団員」という。）を表彰することを目的とする。

第2条 表彰基準は次のとおりとする。

(1) 在職年数10年以上で退職した団員

(2) 公務中事故により死亡又は障害（非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令「昭和31年政令第335号」別表第3に定める1級から8級までの等級に該当する身体障害者をいう。）となり退職した団員

2 退職者に授与する金品の額は、前項第1号該当者は別表第1、前項第2号該当者は別表第2に掲げるとおりとする。

第3条 表彰は、表彰状及び金品を授与して行う。

第4条 表彰を受ける者が死亡したときは、表彰状及び金品をその遺族に授与してこれを追彰する。

第5条 在職期間の計算は、団員となった日の属する月から退職した日の属する月までの期間とする。

第6条 この条例の施行に関し、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和57年10月12日条例第20号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成25年3月22日条例第14号）

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

別表第1 金品の額

在職期間	金品の額
10年以上15年未満	40,000円
15年以上20年未満	60,000円
20年以上25年未満	100,000円
25年以上30年未満	150,000円
30年以上35年未満	200,000円
35年以上40年未満	250,000円
40年以上	300,000円

別表第2

種別	在職期間	金品の額
死亡	10年以下	200,000円
	10年以上15年未満	240,000円
	15年以上20年未満	260,000円
	20年以上25年未満	300,000円
	25年以上30年未満	350,000円
	30年以上	400,000円
障害	10年以下	100,000円
	10年以上15年未満	140,000円
	15年以上20年未満	160,000円
	20年以上25年未満	200,000円
	25年以上30年未満	250,000円
	30年以上	300,000円